



## レストパルF

### L型 床・壁排水

手洗器Mサイズ／まるごと収納タイプ(UWFAA/UWFEA)

手洗器Mサイズ／すっきり収納タイプ(UWFAB/UWFEB)

手洗器Sサイズ／まるごと収納タイプ(UWFBA/UWFFA)

手洗器Sサイズ／すっきり収納タイプ(UWFBB/UWFFB)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

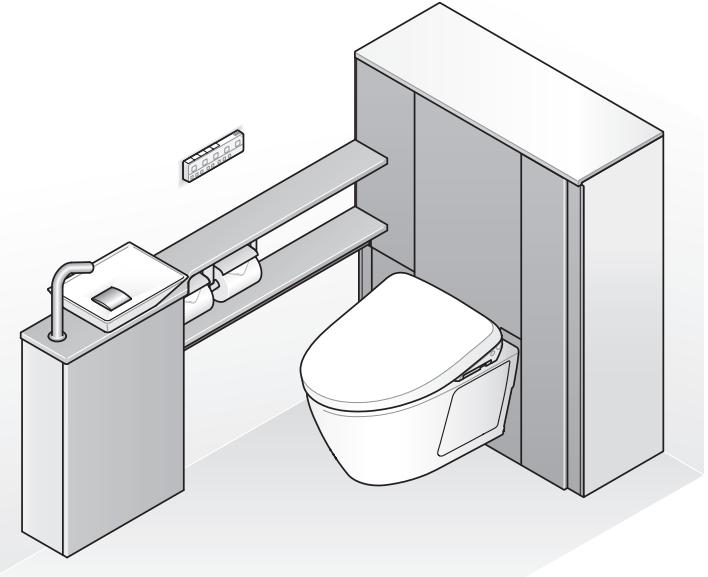
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

本書は手洗器が左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やちらしをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



### 商品タイプの確認 2



### 情報編 3

- |            |    |
|------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4  |
| 2. 取付前のご注意 | 6  |
| 3. 部品の確認   | 16 |

### 手順編 23

動画を見る



#### 施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画をご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

## 工事店様へ

□試運転で必ず実施してください。

便器に水が流れ続ける場合（給水の音が止まらない場合） → P81を参照

セットタンクに強い力や衝撃を与えると、つめが小タンクから外れて水が流れ続ける場合があります。

便器洗浄をして水たまり面が低下する場合 → P82を参照

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

※低下すると汚物付着の原因になります。

水たまり面が低下した場合は、設定変更にて対応してください。

自治体によって洗浄水量の規制がある場合 → P83を参照

□取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡して下さい。  
お渡しきれない場合は、目立つ場所に置いて下さい。

□取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。

□新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいて下さい。



# 商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

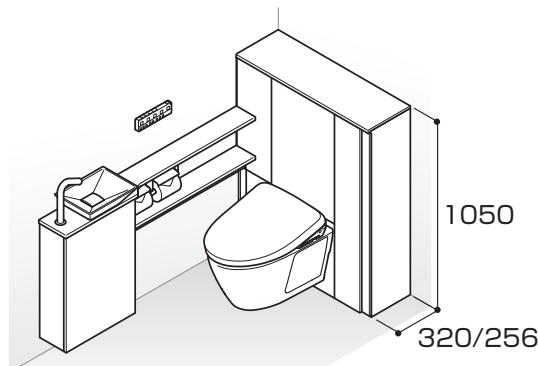
お施主様のお宅は、どのタイプですか？

## 手洗器タイプ

### Mサイズ

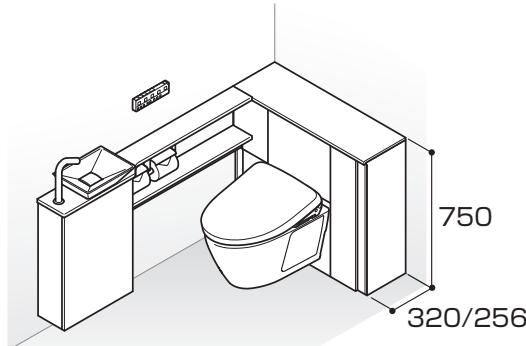
#### まるごと収納タイプ

品番:UWFAA～(キャビネット奥行 320)  
UWFEA～(キャビネット奥行 256)



#### すっきり収納タイプ

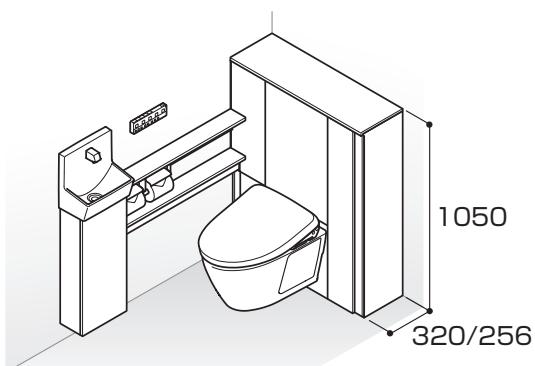
品番:UWFAB～(キャビネット奥行 320)  
UWFEB～(キャビネット奥行 256)



### Sサイズ

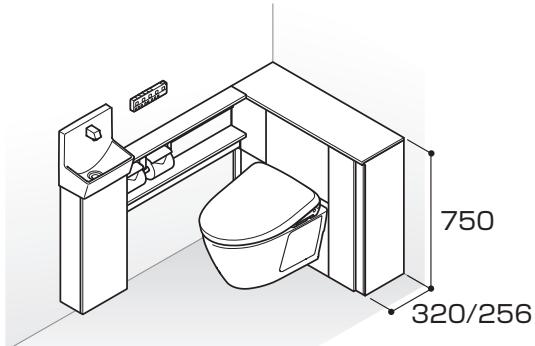
#### まるごと収納タイプ

品番:UWFBA～(キャビネット奥行 320)  
UWFFA～(キャビネット奥行 256)



#### すっきり収納タイプ

品番:UWFBB～(キャビネット奥行 320)  
UWFFB～(キャビネット奥行 256)

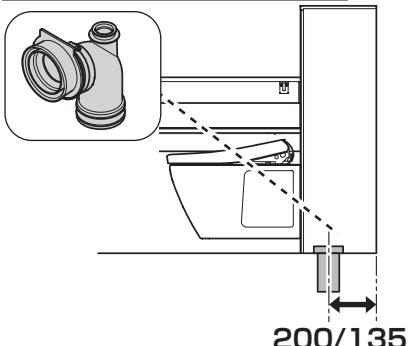


## 給排水タイプ

### 床排水(排水心200mm/135mm)

#### 給水新設

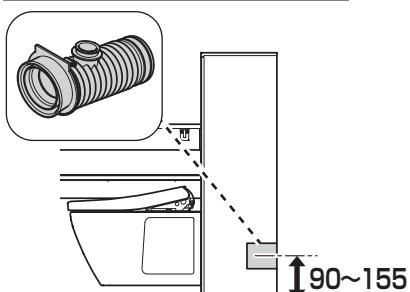
既存給水流用 (リモデル用)



### 壁排水 後ろ抜き

#### 給水新設

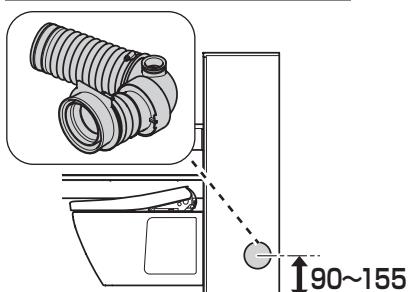
既存給水流用 (リモデル用)



### 壁排水 左右抜き

#### 給水新設

既存給水流用 (リモデル用)



# 情報編

## 1. 安全上のご注意

▶4

## 2. 取付前のご注意

▶6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	7
3	排水位置	7
4	寒冷地・水抜方式の場合の水抜栓位置	9
5	給水位置	9
6	補強材位置	11
7	電気配線	13
8	幅木	14
9	窓枠など	15
10	必要工具	15
11	壁裏補強材なしの場合のオプション品	15

## 3. 部品の確認

▶16

# 1. 安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

## 表示と意味



死亡や重傷を負う可能性がある内容です。



傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

<b>警告</b>			
分解禁止	<b>修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない</b> 火災や感電の原因となります。	ぬれ手禁止	<b>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない</b> 感電の原因となります。
アース接続	<b>アース(口種接地)工事がされていることを確認する</b> アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	水場使用禁止	<b>浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない</b> キャビネット内のコンセントに水がかかり火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
禁止	<b>指定する電源(交流100V)以外では使用しない</b> 火災の原因となります。  <b>電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	<b>電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない</b> 火災や感電の原因となります。  <b>がたついているコンセントは使わない</b> 火災や感電の原因となります。	<b>給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない</b> 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。  <b>器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない</b> 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
必ず守る	<b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b> 火災や感電の原因となります。  <b>コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する</b> 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	<b>壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する</b> 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。  <b>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く</b> コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	<b>工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する</b> 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。
	<b>取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する</b> 取付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。		

## ! 警告

 必ず守る	<p><b>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する</b> 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p> <p><b>機器の設置は専門業者が行う</b> <b>また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う</b> 火災や感電の原因となります。 水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。</p>	<p>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。</p> <p><b>手洗器用クッション材のはり付け、シリコーン系シール材の塗布(コーティング)は確実に行う</b> 水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。</p>

## ! 注意

 禁止	<p><b>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない</b> 皮膚の炎症などを起こす原因となります。</p> <p><b>止水栓を開けたままで給水フィルターを外さない</b> 水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p><b>商品に強い力や衝撃を与えない</b> 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p><b>給水ホースが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>カウンターの上に乗って作業しない</b> カウンターが破損したり落ちたりして、けがの原因となります。</p>
	<p><b>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。</b></p> <p><b>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>カットした面は滑らかに仕上げる</b> 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。</p> <p><b>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。</p> <p><b>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり物を載せたりしないよう十分注意する</b> 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。</p> <p><b>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。</p> <p><b>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う</b> 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する</b> 取付時にけがをする原因となります。</p>	<p><b>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>給水ホースと分岐金具を正しく接続する</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 商品が破損し、けがをする原因となります。</p> <p><b>水平器を用いて水平に設置する</b> 収納物が落下してけがの原因となります。</p> <p><b>手洗器など、器具周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 水が浸入し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>便器の水たまり部を見て、封水が切れていないことを確認する</b> 封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じるおそれがあります。</p> <p><b>電源コードは指定された機器以外に使用しない</b> 機器故障の原因となります。</p>	

## 2. 取付前のご注意

施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。  
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くことがあります。

### 取付前の確認

#### ① 取り付けに必要なトイレスペースを確保する

▶P.6「設置寸法」参照

※手洗器キャビネットを設置の際は、ドア枠などの干渉により扉が開かなくなる場合があります。

#### ② 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する

※ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。

コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。

#### ③ 給水条件

最低必要水圧：0.05MPa(流動時)

最高水圧：0.75MPa(静止時)

給水温度：40°C以下

この圧力範囲で使用してください。

#### ④ キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外ははらない

#### ⑤ ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用して、正しい施工方法で取り付ける

#### ⑥ 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認し、その指示に従う

**参考** 「水漏れ確認」は、本説明書を参照してください。  
「ウォシュレットへの通電」はウォシュレット施工説明書を参照してください。

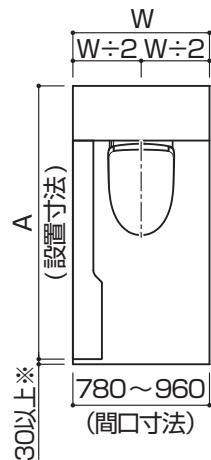
## 1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。間口750mm未満には対応できません。

間口750~960mm

#### Mサイズ

排水タイプ	A
床排水200	1600
床排水135・壁排水	1500



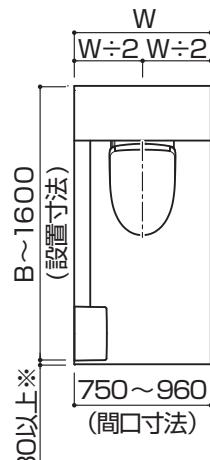
※指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

※床排水200と床排水135・壁排水では、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレの奥行寸法が異なります。

#### Sサイズ

Sサイズ カウンターは、使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行寸法にあわせて下記の長さにカットできます。

排水タイプ	間口	B
床排水200	750~855	1340
	856~960	1265
床排水135	750~855	1275
壁排水	856~960	1200

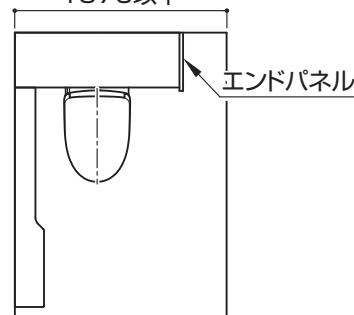


#### エンドパネルを使用する場合

- エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。
- 排水抜き方向側（壁排水の場合）は取り付けできません。
- 両側設置はできません。

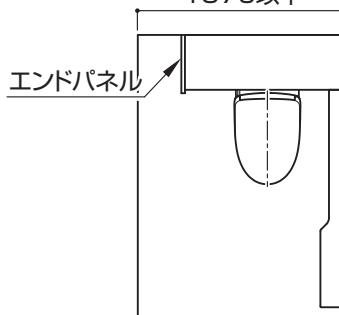
#### Lタイプの場合

1370以下



#### Rタイプの場合

1370以下



## 2

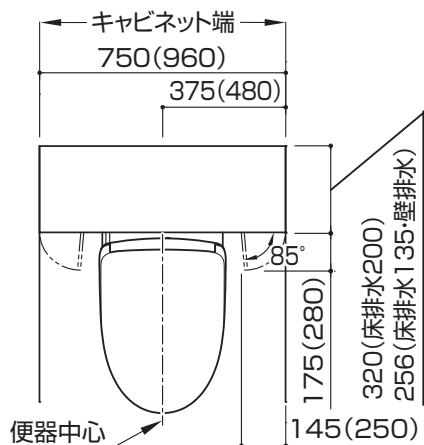
## キャビネット扉の開閉範囲

- ・大便器キャビネットの扉、手洗器キャビネットの扉は、下図の範囲で開閉します。
- ・開閉範囲内に障がい物がないことを確認してください。

## 大便器キャビネット

図は間口750mm・960mmで表記

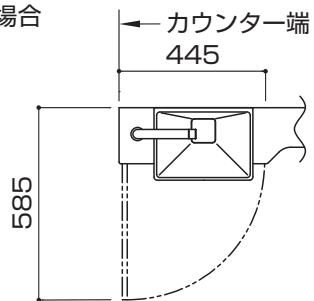
( )内は間口960mmの場合



## 手洗器キャビネット

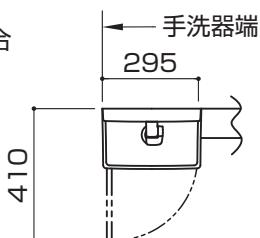
## 【Mサイズ手洗器】

※図は左勝手の場合



## 【Sサイズ手洗器】

※図は左勝手の場合



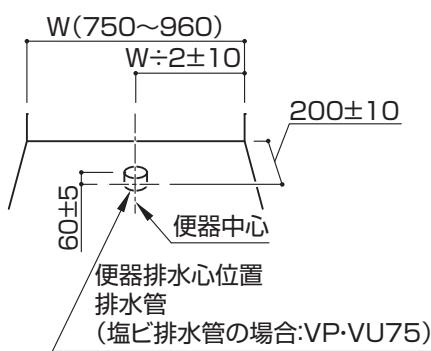
## 3

## 排水位置

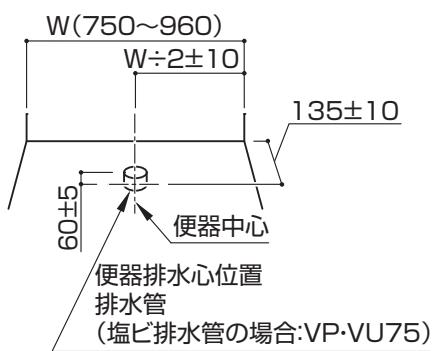
## 床排水タイプ

- ・下図の位置に便器の排水心があることを確認してください。
- ・VP・VU75（塩ビ排水管）は床から $60\pm 5$ mmで立ち上げてください。
- ・VP・VU100（塩ビ排水管）には接続できません。

## 排水心200の場合



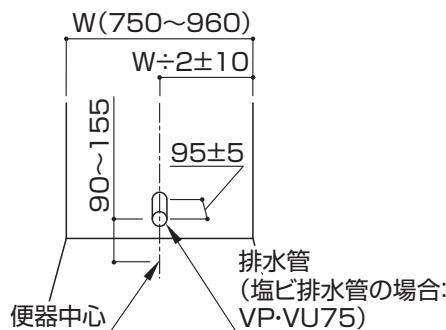
## 排水心135の場合



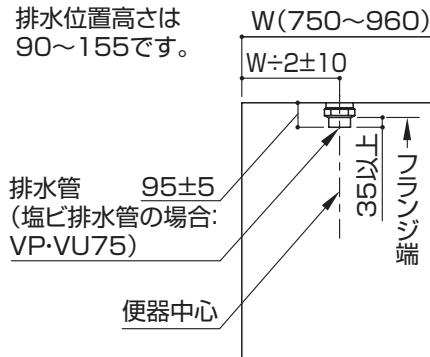
## 壁排水タイプ

- 下図の位置に便器の排水管位置があることを確認してください。
- 排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- 便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。
- VP・VU100(塩ビ排水管)には接続できません。

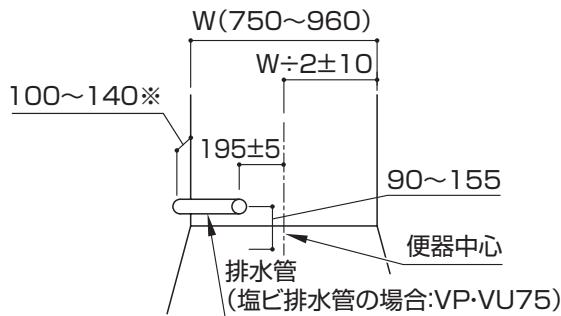
### 後ろ抜きの場合



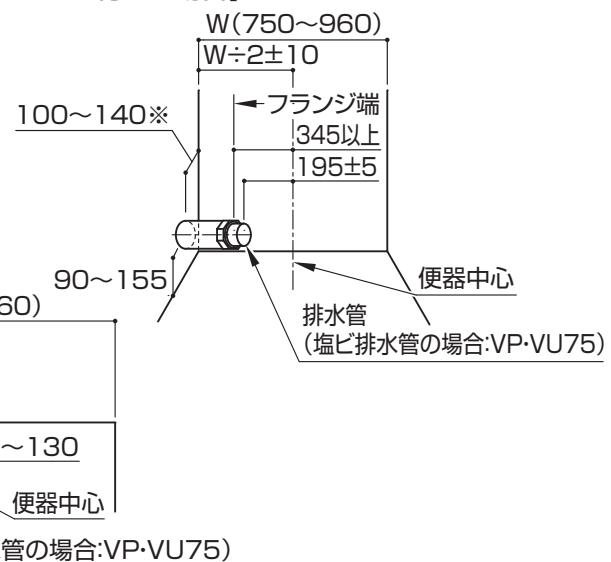
### 【フランジ付きの場合】



### 左抜きの場合

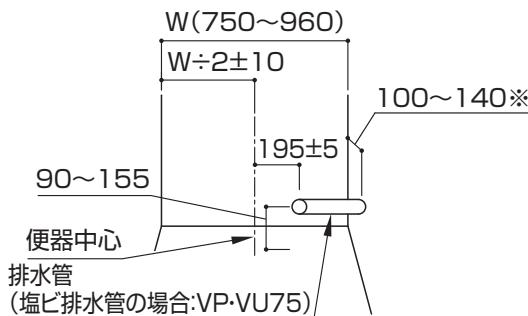


### 【フランジ付きの場合】

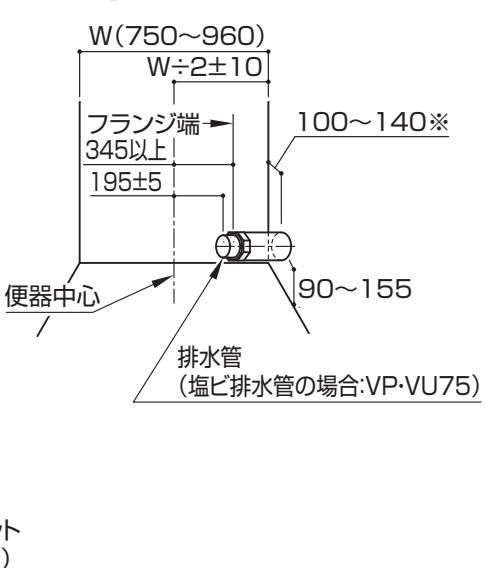


※排水位置が後壁から131~140の場合は、別途偏心ソケットを手配し右図の位置に立ち上げてください。  
偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。

### 右抜きの場合



### 【フランジ付きの場合】



※排水位置が後壁から131~140の場合は、別途偏心ソケットを手配し右図の位置に立ち上げてください。  
偏心ソケットは逆勾配にならないよう取り付けてください。

## 4

# 寒冷地・水抜方式の場合の水抜栓位置

・水抜栓立ち上げ可能な範囲は下図のとおりです。

※図はMサイズ・右勝手の場合です。

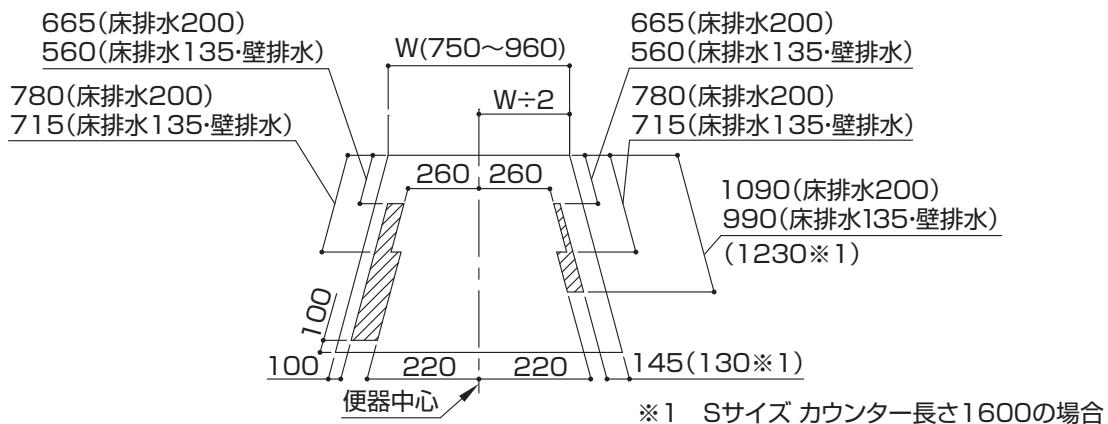
左勝手の場合は、下図と逆勝手となります。

### 事前確認

紙巻器の設置位置を確認

※水抜栓高さが、450mmを超える場合は、紙巻器に干渉するおそれがあります。

棚付二連紙巻器を設置する場合は、棚板や扉などと干渉しないかを確認



## 2

# 取付前の注意

## 5

# 給水位置

### 給水新設の場合

- 下図の位置に仕上げ面と同一面に給水管(Rc1/2)を取り出してください。
- 手洗器が左右勝手とも、給水位置は共通です。

【床排水タイプで寒冷地(水抜方式)の場合】

床給水のみとなります。

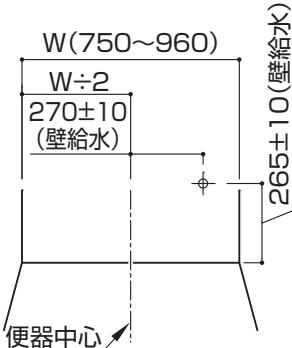
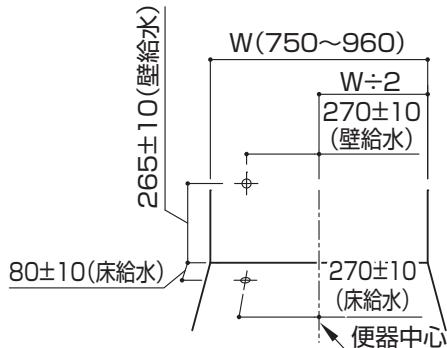
【壁排水タイプで左右抜きの場合】

壁給水のみとなります。

#### 床排水／後ろ抜き／右抜きの場合

#### 左抜きの場合

- 延長用ホース(TN98L2X30)、およびウォシュレット用給水ホース(TCA525)を別途手配してください。



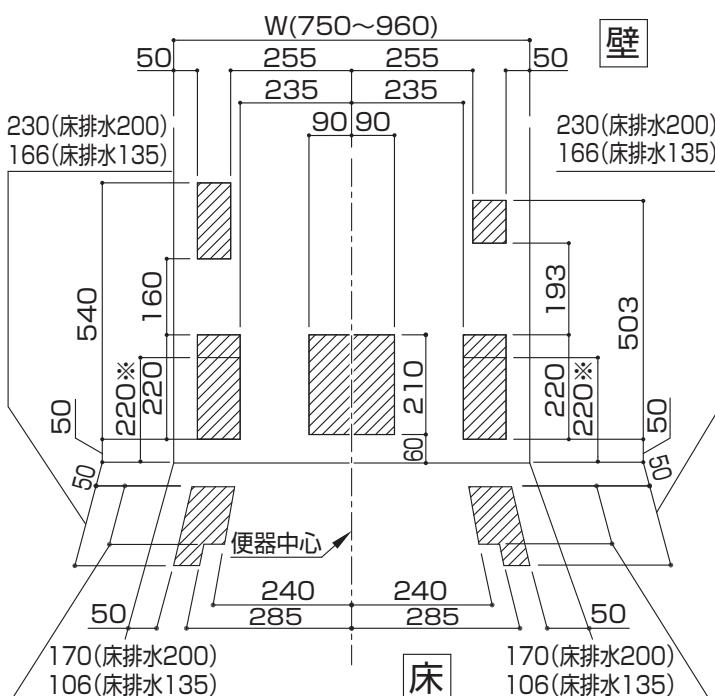
## 既存給水流用の場合

- ・下図の領域内が対応範囲となります。対応範囲内に給水管（Rc1/2）の中心があることを確認してください。  
仕上げ面と同一面に給水管を取り出してください。
  - ・手洗器が左右勝手とも対応範囲が共通です。

## 床排水タイプ

### 【一般地・流動方式の場合】

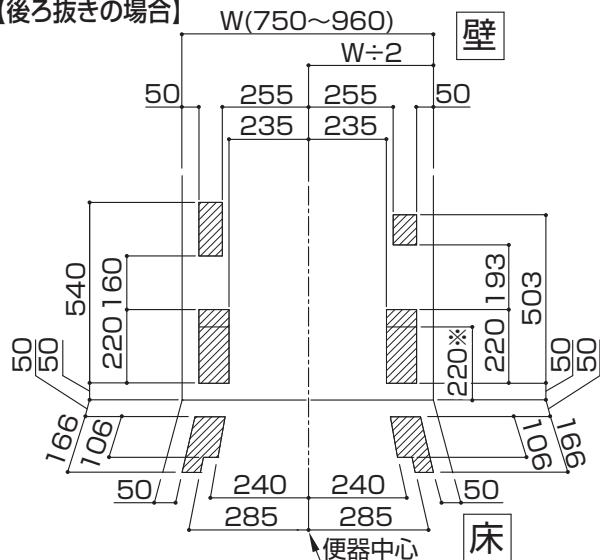
- ・給水位置が便器中心より右側の場合は、  
**延長用ホース(UGTN98L2X50RS)**を別途手配してください。  
※印より上に給水位置がある場合は、棚板が取り付けられません。



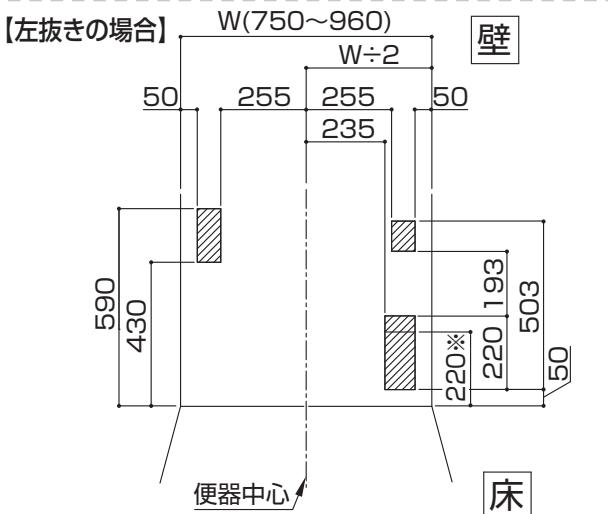
## 壁排水タイプ

- ・給水位置が便器中心より右側の場合は、  
**延長用ホース(UGTN98L2X50RS)** を別途手配してください。  
※印より上に給水位置がある場合は、棚板が取り付けられません。

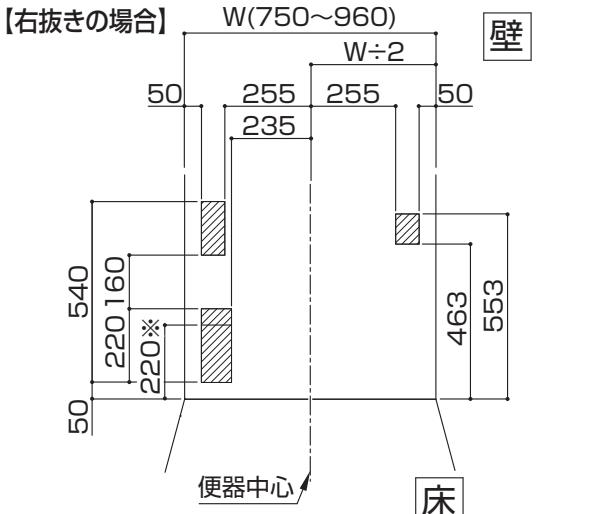
### 【後ろ抜きの場合】



### 【左抜きの場合】



### 【右抜きの場合】



# 6

## 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。  
 [URL]  
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejichijoho/kinejichijoho.htm>

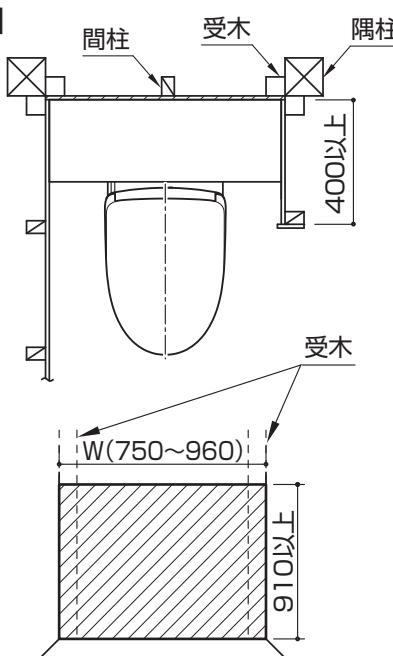


### 大便器キャビネット部

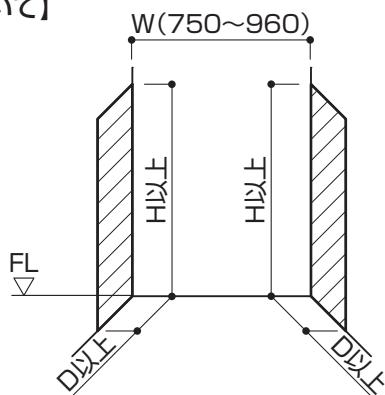
- 施工にあたっては、下記以上の強度の補強を必ず施してください。
- 周辺部材を設置する場合は取付面にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- 合板は間柱および受木に確実に固定してください。
- 木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- 間柱および受木は、奥行き45mm×幅36mm以上のものを、ピッチ455mm以下で入れてください。  
根太は高さ45mm×幅36mm以上のものを、ピッチ303mm以下で入れてください。  
また、束などによる支持を、ピッチ910mm以下で入れてください。
- ※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。

間口750~960mm

#### 【後壁について】



#### 【横壁について】



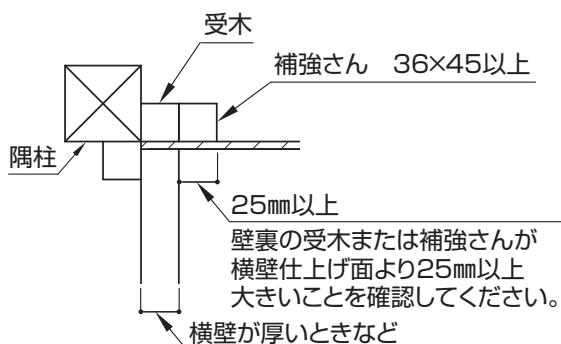
- 後壁と横壁が、受木／隅柱などを介し、連結されていることを確認してください。
- 上図の斜線範囲(壁裏)に、t12以上の普通合板(JAS規格品)を必ず入れてください。
- 横壁に扉が付く場合でも、後壁から400mmは壁を設置してください。
- ※ 軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。

タイプ	排水タイプ	H	D
まるごと収納	床排水200	1050	290
	床排水135・壁排水	1050	225
すっきり収納	床排水200	760	290
	床排水135・壁排水	760	225

- 上図の斜線範囲(壁裏)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- 壁裏補強なしで施工をする場合は、ボードアンカー(オプション:UGA490B)を使用してください。

#### 【設置寸法の両端に受木がない場合】

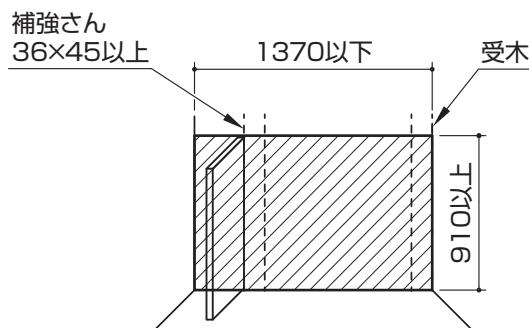
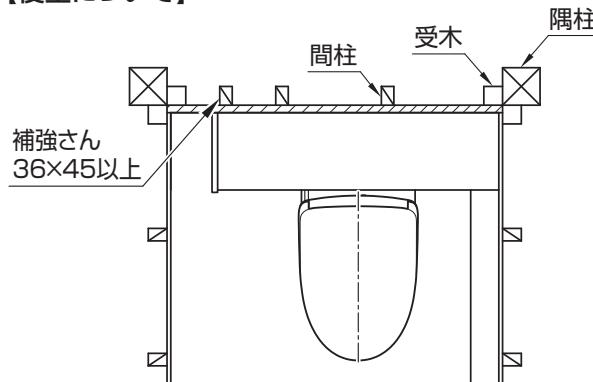
- 必要に応じて補強さんを追加してください。
- 補強さんは上下端を固定してください。または間柱や受木に横打ちしてください。



- ねじ位置詳細図とあわせてご確認ください。

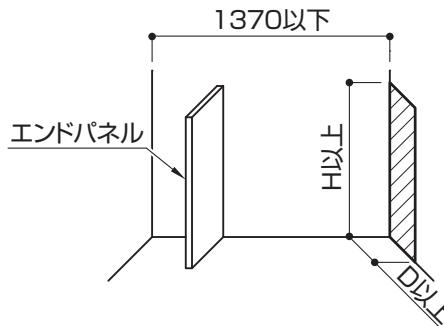
## エンドパネルを使用する場合（間口1370mm以下）

## 【後壁について】



- ・エンドパネルを使用する場合、間口は1370mm以下としてください。
- ・上図の斜線範囲(壁裏)に、t12以上の普通合板(JAS規格品)を2枚重ね、または、t24以上の普通合板(JAS規格品)を必ず入れてください。

## 【横壁について】



タイプ	排水タイプ	H	D
まるごと収納	床排水200	1050	290
	床排水135・壁排水	1050	225
すっきり収納	床排水200	760	290
	床排水135・壁排水	760	225

- ・エンドパネルと反対側の横壁(上図の斜線範囲の壁裏)に、t12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・壁裏補強なしで施工をする場合は、ボードアンカー(オプション:UGA490B)を使用してください。

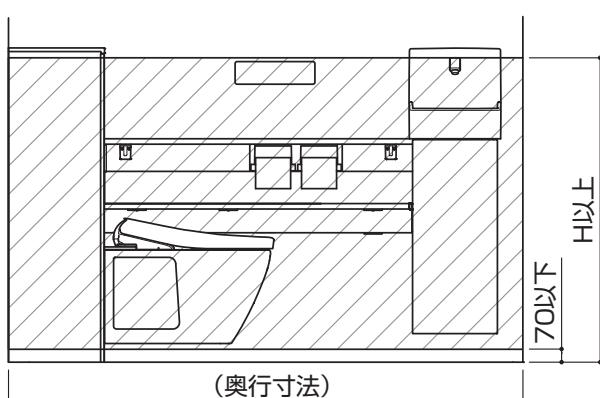
※上図はRタイプのエンドパネルです。Lタイプの場合は逆勝手となります。

## 手洗器部

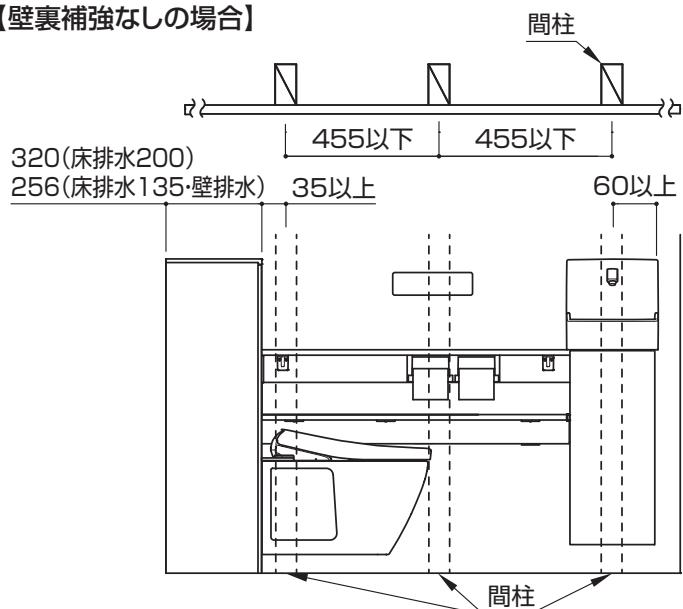
- ・下図の斜線範囲(壁裏)（周辺部材を設置する場合は取付面）にt12以上の普通合板（JAS規格品）を入れてください。合板は受木または間柱などに固定してください。
  - 壁裏補強なしで施工をする場合は、間柱にカウンターを固定します。
  - 部屋に間柱が所定の位置にあることを確認してください。
  - ・間柱以外の壁裏補強のない壁面には、ボードアンカー（オプション：UGA490B）を使用してください。
- ※周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。

## 【壁裏補強ありの場合】

H	
Mサイズ	Sサイズ
750	1030



## 【壁裏補強なしの場合】



間柱に2本以上固定できることを確認してください。

定格消費電力は右表を参照してください。  
(AC100V 50/60Hz共通です。)

定格消費電力	ウォシュレット			ヒーター付タンク(水抜方式)	電気温水器	自動水栓	便器下照明
	1277W (F1A/F2A)	1278W (F3A)	1280W (F4A)	2W	約505W	0.4W (作動時0.6W)	4.3W

## コンセント設置位置 大便器キャビネット部

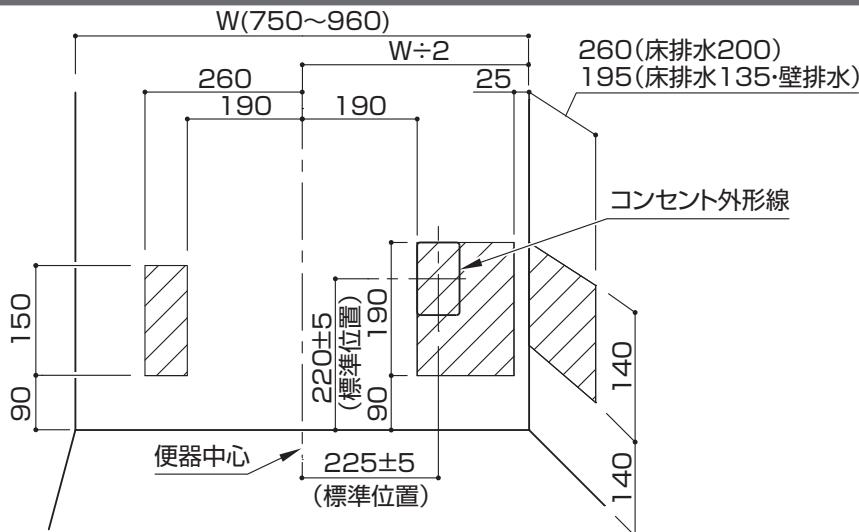
- 排水管、水栓の仕様条件から、下表の該当するコンセント位置を確認してください。

	床排水の場合	壁排水の場合		
		後ろ抜き	左抜き	右抜き
一般地 流動方式	ハンドル式水栓	①	①	②
	自動水栓	④※	④※	⑤※
	電気温水器付自動水栓	①	①	②
水抜方式	ハンドル式水栓	④※	—	—
	自動水栓	④※	—	—
	電気温水器付自動水栓	④※	—	—

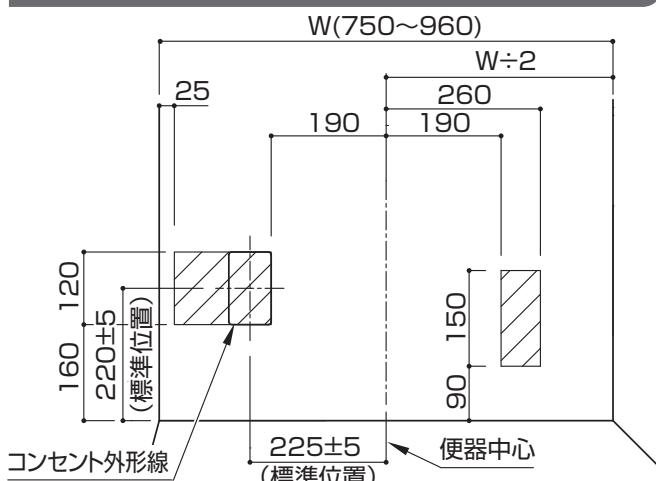
※コンセントを2カ所設置してください。

- コンセントは接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。
- 既存のコンセントを使用する場合は、下図の斜線範囲内にコンセントの外形が納まることを確認してください。
- 新規に設置する場合は、下図の「標準位置」に設置してください。
- 向かって右側にエンドパネルを使用する場合は、横壁のコンセントは使用できません。
- コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。
- コンセントは給水管の下にならない位置に設置してください。

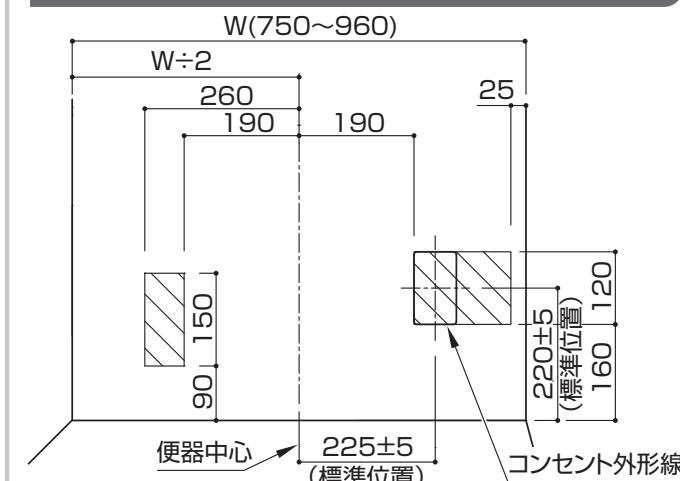
①一般地・流動方式 ハンドル式水栓・電気温水器付自動水栓(床排水)／一般地 ハンドル式水栓・電気温水器付自動水栓(後ろ抜き)の場合



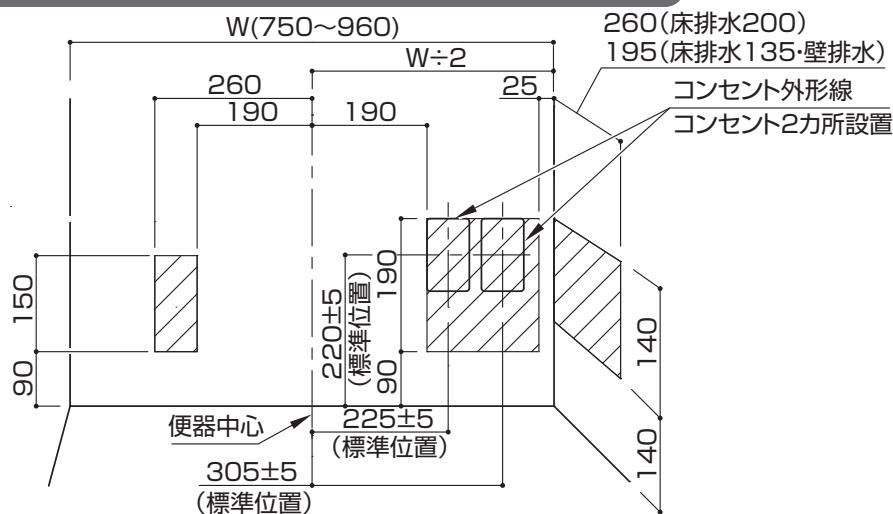
②一般地 ハンドル式水栓・電気温水器付自動水栓(左抜き)の場合



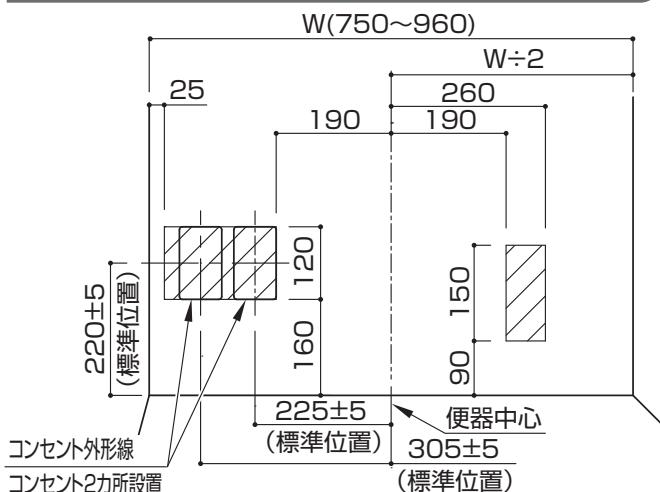
③一般地 ハンドル式水栓・電気温水器付自動水栓(右抜き)の場合



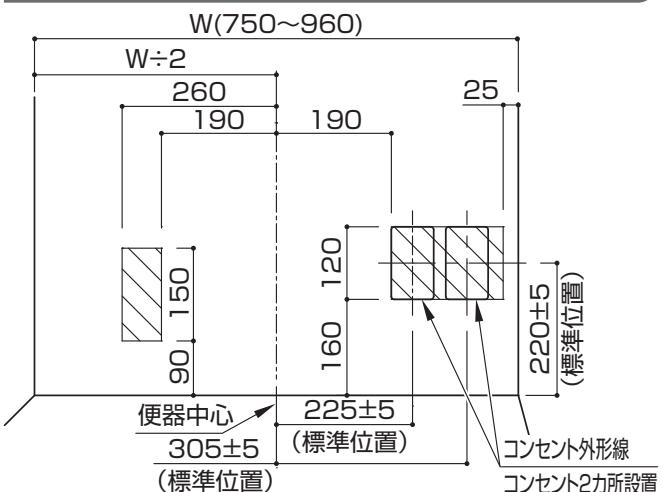
## ④一般地・流動方式 自動水栓(床排水)／一般地 自動水栓(後ろ抜き)／水抜方式(床排水)の場合



## ⑤一般地 自動水栓(左抜き)の場合



## ⑥一般地 自動水栓(右抜き)の場合

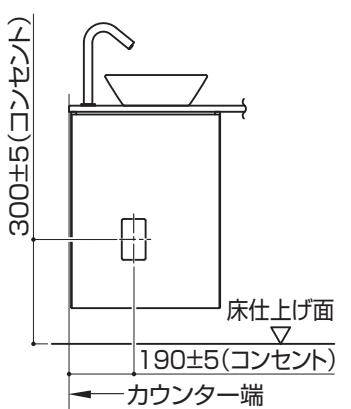


## コンセント設置位置 手洗器部（電気温水器付自動水栓の場合）

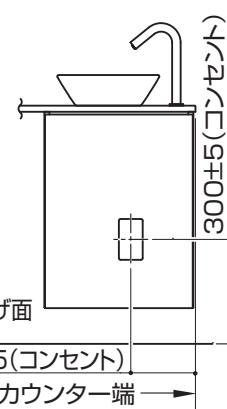
- あらかじめ手洗器キャビネット内に別途接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを、大便器キャビネット内のコンセントとは独立系統で取り付けておいてください。
- コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

## Mサイズ

## 【左勝手の場合】

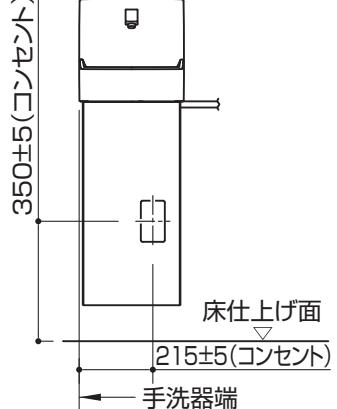


## 【右勝手の場合】

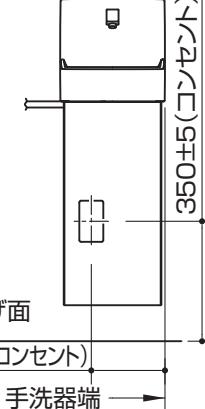


## Sサイズ

## 【左勝手の場合】



## 【右勝手の場合】



## 8 幅木

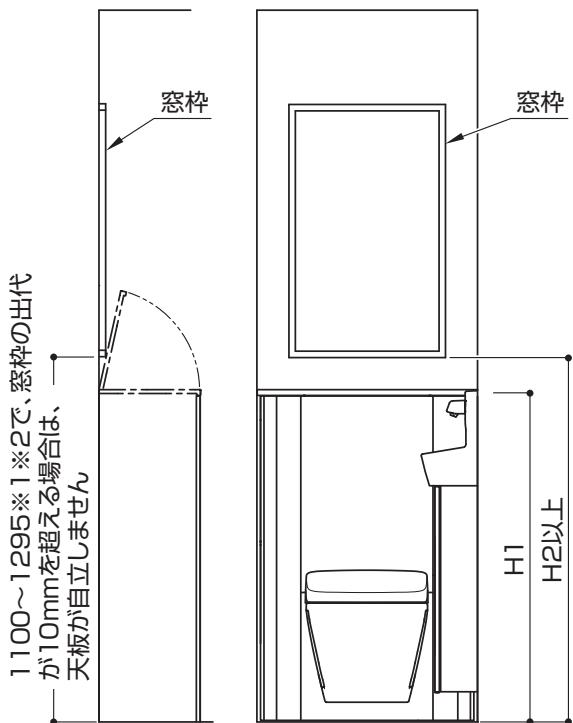
- 幅木の大きさは、高さ100mm以下、厚さ10mm以下としてください。
- 本商品は幅木カット不要で設置できます。

# 9

## 窓枠など

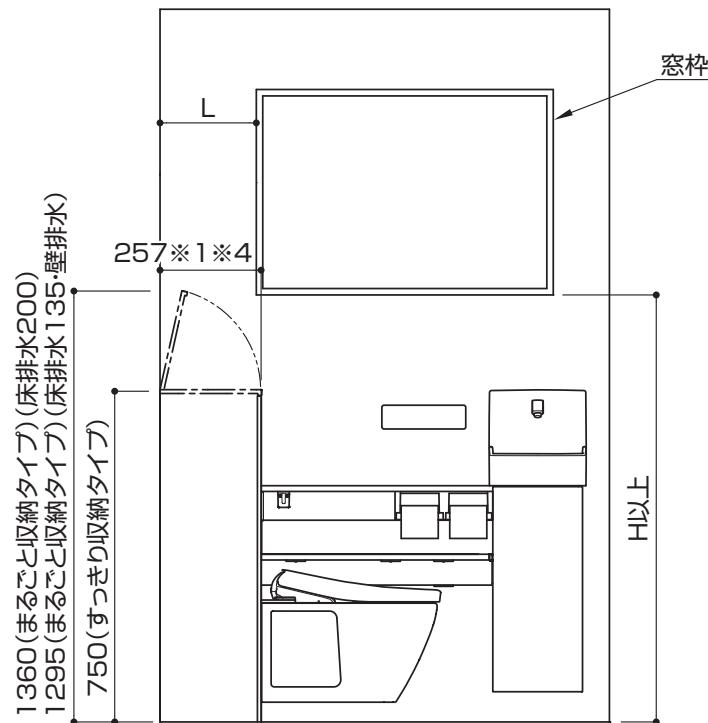
- 壁に窓枠や腰壁の見切りなどの突起物などがある場合、下図のような制約が付きます。  
事前に商品と干渉しないよう窓枠や腰壁の見切りなどの位置を設定してください。

大便器後壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ	すっきり収納タイプ※3	H1	H2	H1	H2
Mサイズ	1050	1100	750	770		
Sサイズ	1050	1100	750	770		

大便器横壁に窓がある場合



タイプ	まるごと収納タイプ				すっきり収納タイプ※3
	床排水200	床排水135・壁排水	L=365以上	L=365未満	
Mサイズ	890	1395	890	1330	890
Sサイズ	1090	1395	1090	1330	1090

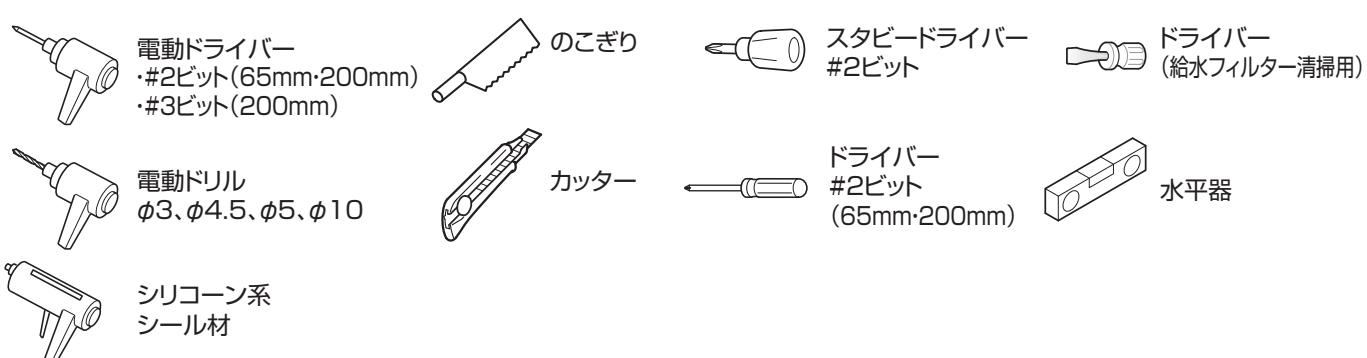
図はSサイズまるごと収納タイプの天板の開き方を示しています。

※1 床排水135・壁排水の場合 ※3 すっきり収納タイプの場合、天板は開きません。

※2 床排水200の場合は1360 ※4 床排水200の場合は321

# 10 必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



# 11 壁裏補強材なしの場合のオプション品



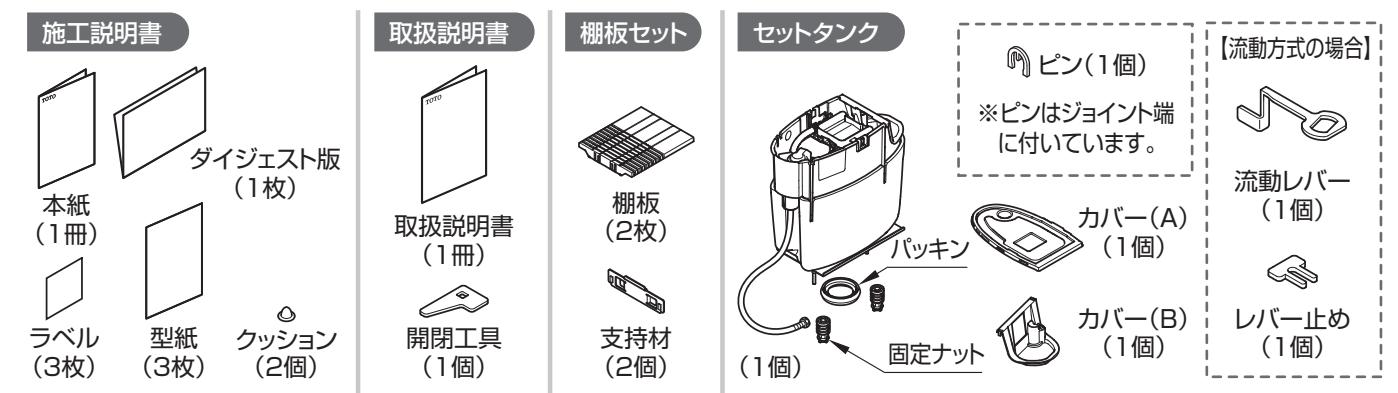
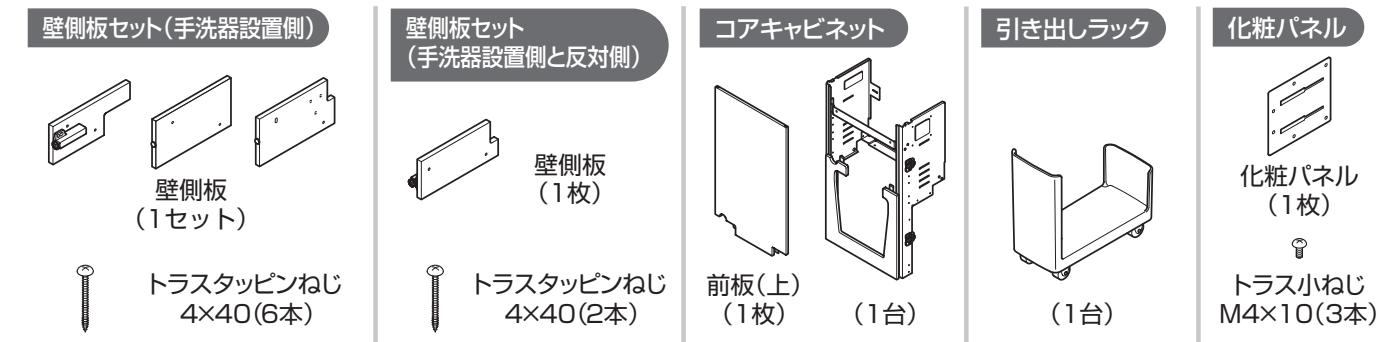
ボードアンカー  
(品番:UGA490B 50個入)

※タイプ・現場状況により必要数量が異なります。

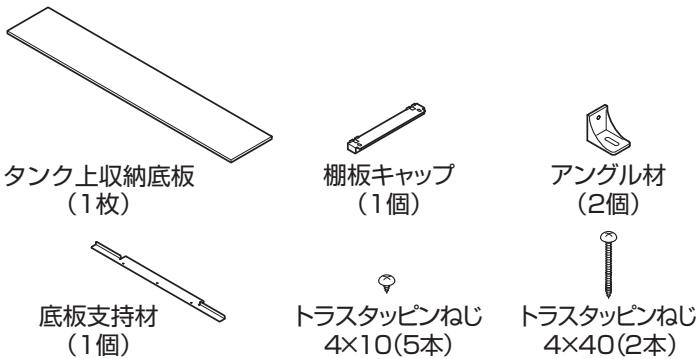
### 3. 部品の確認

- 専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。
- 包装箱の内容はまるごと収納タイプ(左勝手)を基本として記載しています。

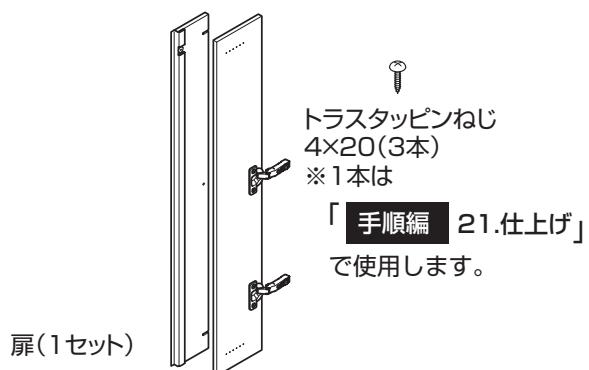
#### コアキャビネットセット



#### タンク上収納底板セット(まるごと収納タイプの場合)

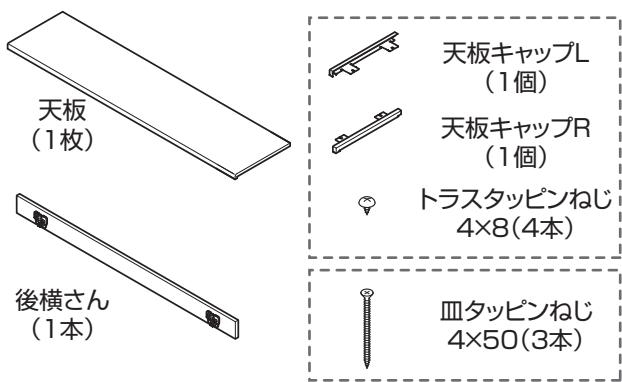


#### 扉セット(手洗器設置側と反対側)

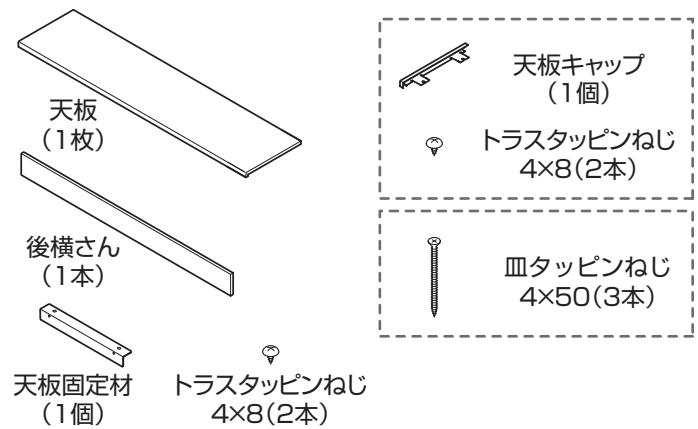


#### 天板セット

##### 【手洗器なし まるごと収納タイプの場合】



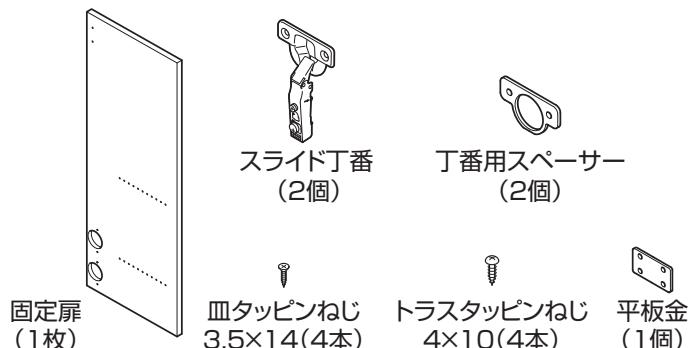
##### 【手洗器なし すっきり収納タイプの場合】



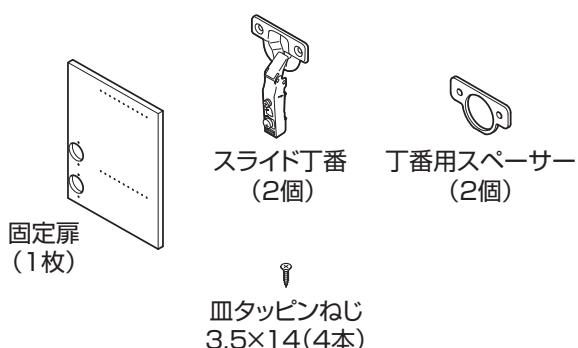
## コアキャビネットセット（つづき）

### 扉セット（手洗器設置側）

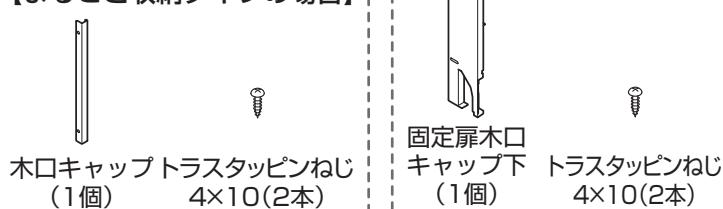
#### 【まるごと収納タイプの場合】



#### 【すっきり収納タイプの場合】



#### 【まるごと収納タイプの場合】



## 手洗器カウンター部材

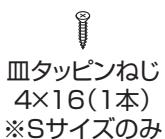
### カウンターセット



配管固定材  
(3個)



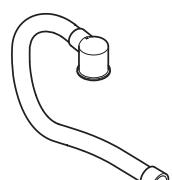
ホースクランプ  
(3個)



皿タッピンねじ  
4×16(1本)  
※Sサイズのみ



皿タッピンねじ  
4×40  
Mサイズ:3本  
Sサイズ:2本



トラップ排水管  
(1本)



排水トラップ(1個)



手洗器排水ホース  
(1本)



クイックファスナー  
(1個)



クイックファスナー  
(1個)



クイック  
ファスナー  
(1個)



排水金具  
(1個)



スリップ  
ワッシャー<sup>3</sup>  
(1個)



接続管  
(1個)



ブラケット  
(2個)



スペーサー  
(2個)



座付  
なべタッピンねじ  
4×16(6本)



トトラスタッピンねじ  
4×30(4本)

#### [Mサイズの場合]



アンダル材(白)  
(1個)



アンダル材  
(1個)



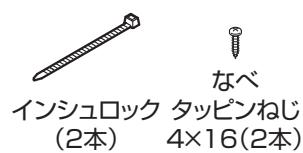
座付  
なべタッピンねじ  
4×16(3本)



トトラスタッピンねじ  
4×20(1本)



配管支持材  
(2個)

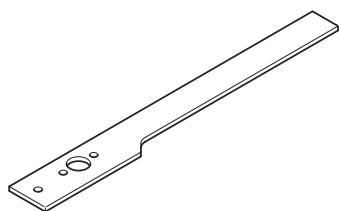


インシュロック タッピンねじ  
(2本)  
なべ  
タッピンねじ  
4×16(2本)

## 手洗器カウンター部材（つづき）

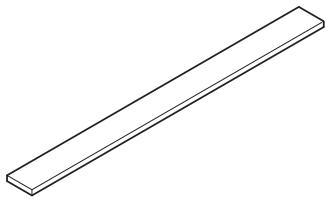
### カウンターセット(つづき)

【Mサイズの場合】



上段カウンター(1台)

【Sサイズの場合】



上段カウンター(1台)

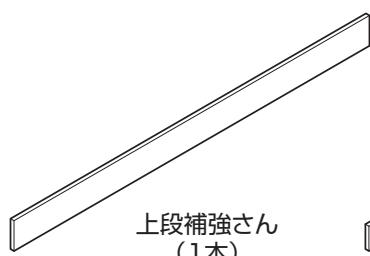
カウンター キャップ(1個)  
トラスタッピンねじ 4×10(1本)

皿タッピンねじ 4×40(10本)

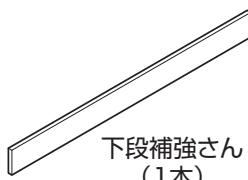
下段ブラケット  
(3個)

トラスタッピンねじ 4×20(6本)  
なべタッピンねじ 4×16(6本)

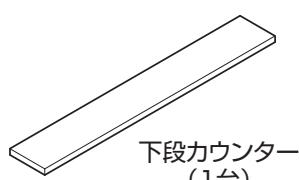
座付



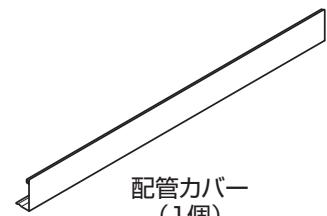
上段補強さん  
(1本)



下段補強さん  
(1本)



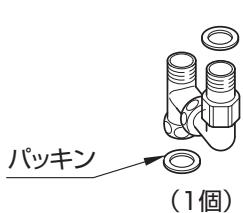
下段カウンター  
(1台)



配管カバー  
(1個)

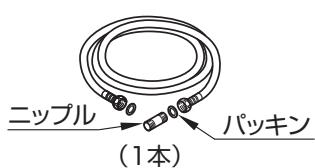
## 手洗器キャビネット部材の詰めあわせ

### 分岐金具



パッキン  
(1個)

### フレキホース(手洗器用)



※ニップルは手洗器Sサイズ  
ハンドル式水栓の場合のみ  
入っています。

## 手洗器Mサイズのみに入っているもの

### 自動水栓

※自動水栓の場合



(1個)

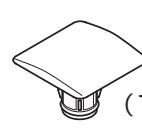
### ハンドル式水栓

※ハンドル式水栓の場合



(1個)

### 排水目皿



(1個)

### 手洗器固定金具セット



クッション材(1個)



手洗器固定金具  
(2個)



取付ボルト  
(2本)



ワッシャー  
(2個)



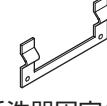
取付ナット  
(2個)

## 手洗器Sサイズのみに入っているもの

### 施工部材セット



固定ブッシュ  
(2個)



手洗器固定金具  
(1個)



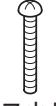
クッション材  
(1個)



ホースクランプ  
(1個)



トラスタッピンねじ  
4×30(3本)



トラス小ねじ  
M5×54(2本)



ワッシャー  
(2個)

# 手洗器キャビネット部材の詰めあわせ(つづき)

## 自動水栓／電気温水器付自動水栓の場合

### 自動水栓機能部



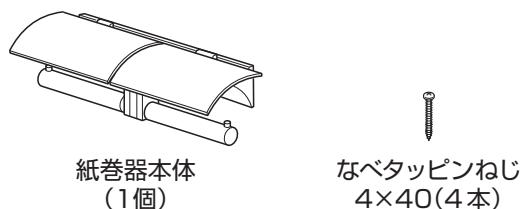
### コントローラー固定材



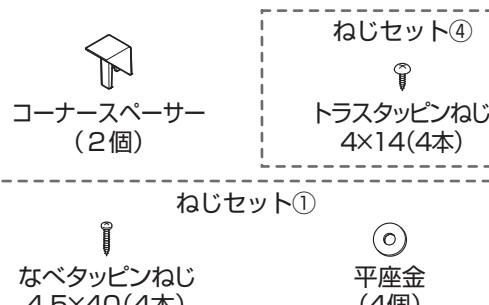
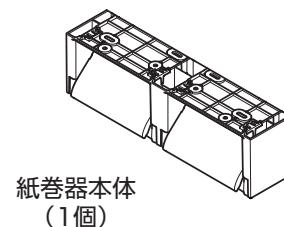
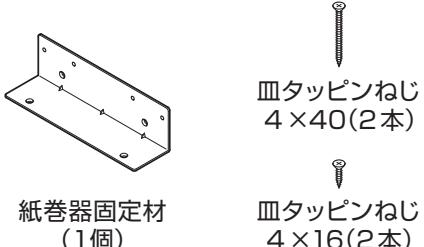
## 商品選択されている場合に入っているもの

### 紙巻器

#### 【メタル製】



### 紙巻器固定材



### タオル掛け

#### 【手洗器下取付タイプ】

手洗器Mサイズの場合



手洗器Sサイズの場合

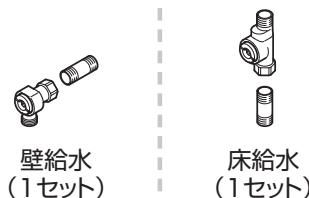


## その他部材の詰めあわせ

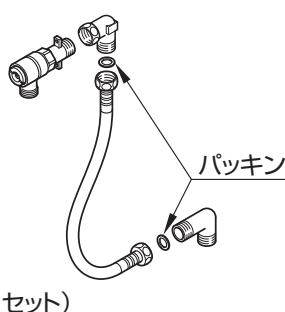
## 止水栓

\*止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

## 【給水新設用】



## 【既存給水流用】※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



ホースクランプ (1個)



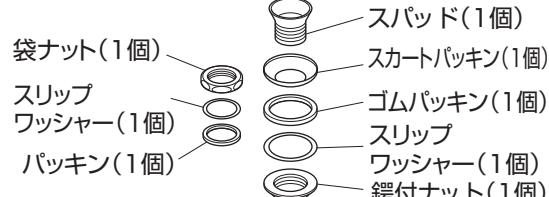
トラスタッピンねじ 4×40(1本)

## 大便器排水接続管

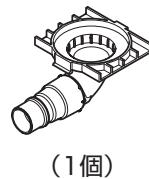


※図は床排水の場合

## スパッド



## タンク接続管



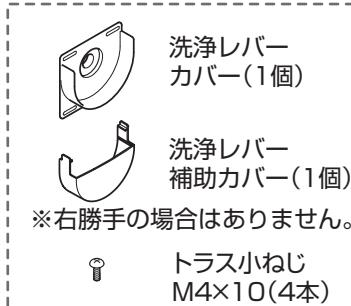
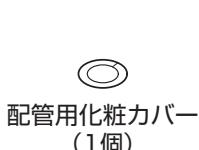
## 天板開閉部材セット(まるごと収納タイプの場合)



トラス小ねじ M4×8(5本)



## コアキャビネット付属部材セット



トラス小ねじ M4×10(4本)

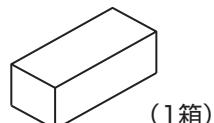


トラスタッピンねじ 4×40(2本)  
トラスタッピンねじ 4×30(1本)

## 商品選択されている場合に入っているもの

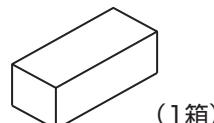
## 手すり

## 【ハンドグリップ】



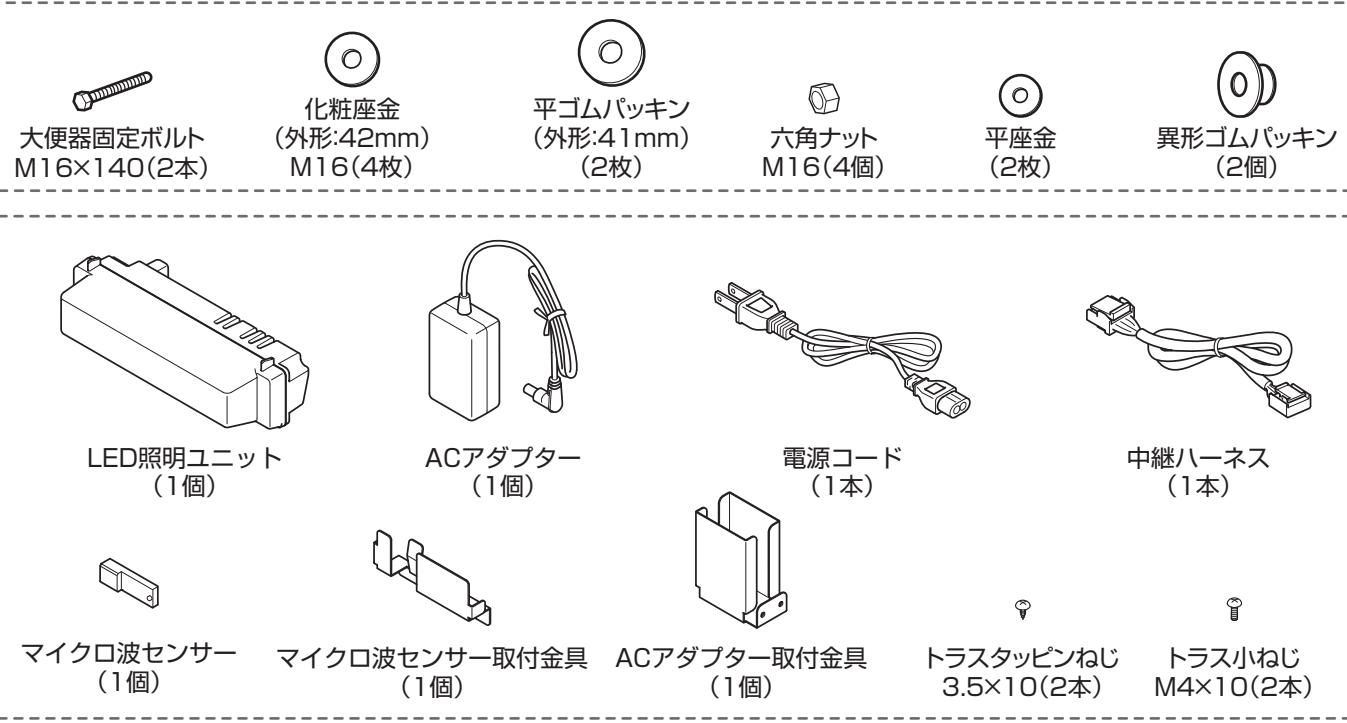
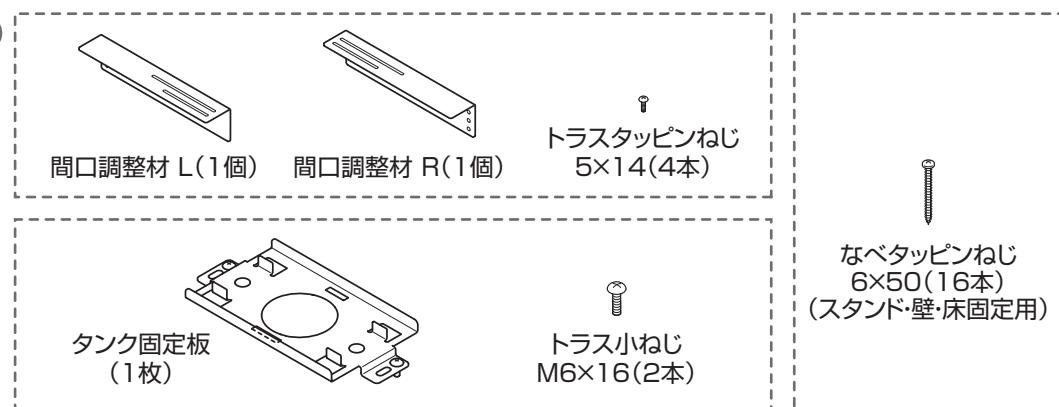
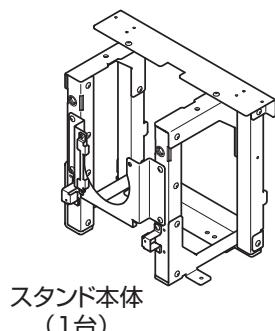
## タオル掛け

## 【壁取付タイプ】

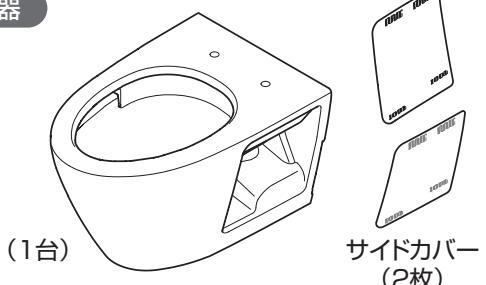


## その他包装

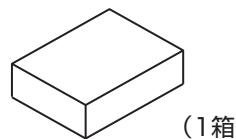
### 壁掛大便器スタンドセット



### 大便器

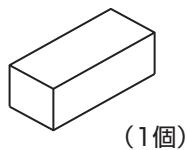


### ウォシュレット

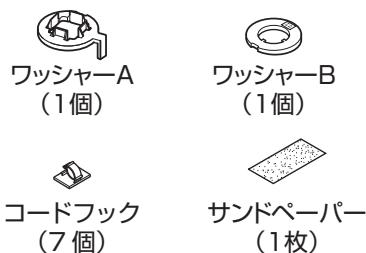


※ウォシュレットの箱の中に入っています  
「**手順編 2.止水栓**」で使用します

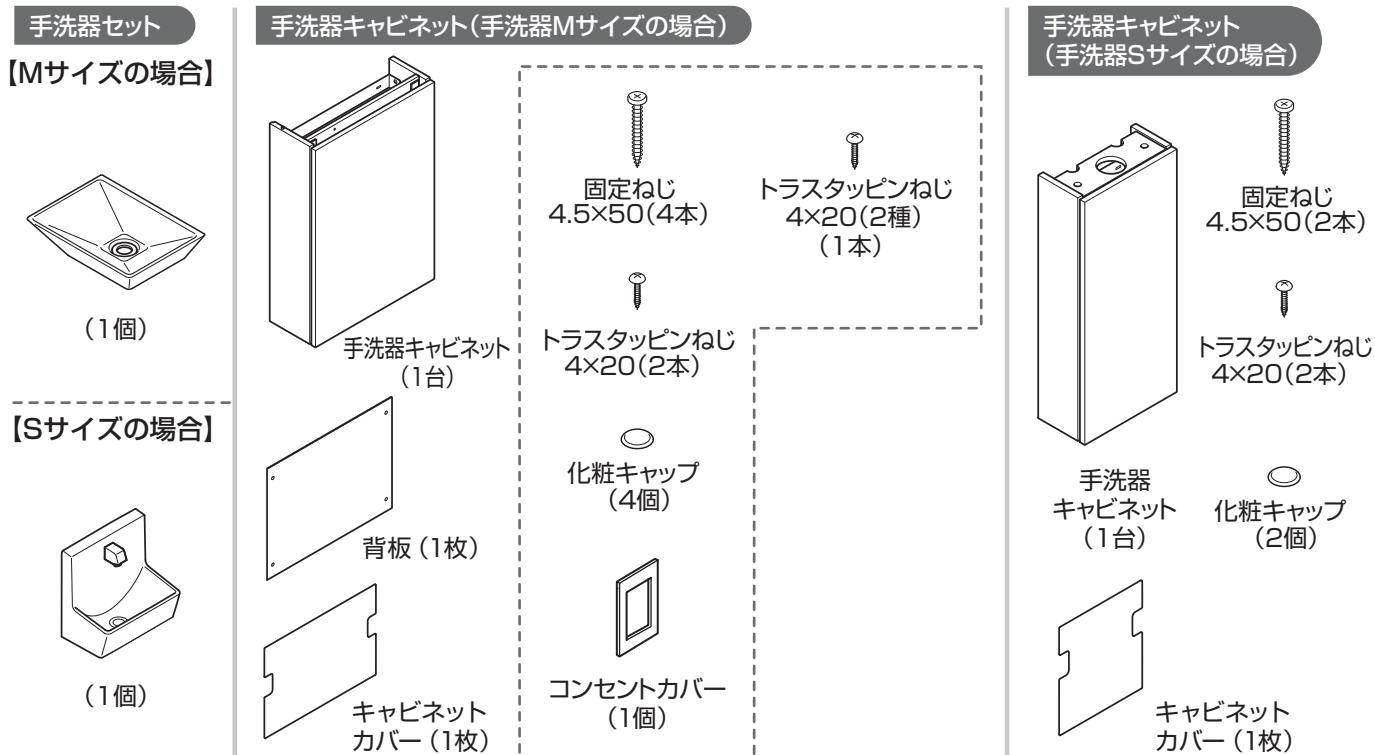
### 便器洗浄ユニット



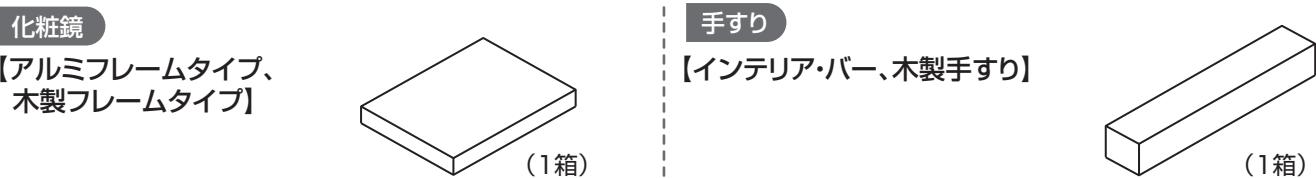
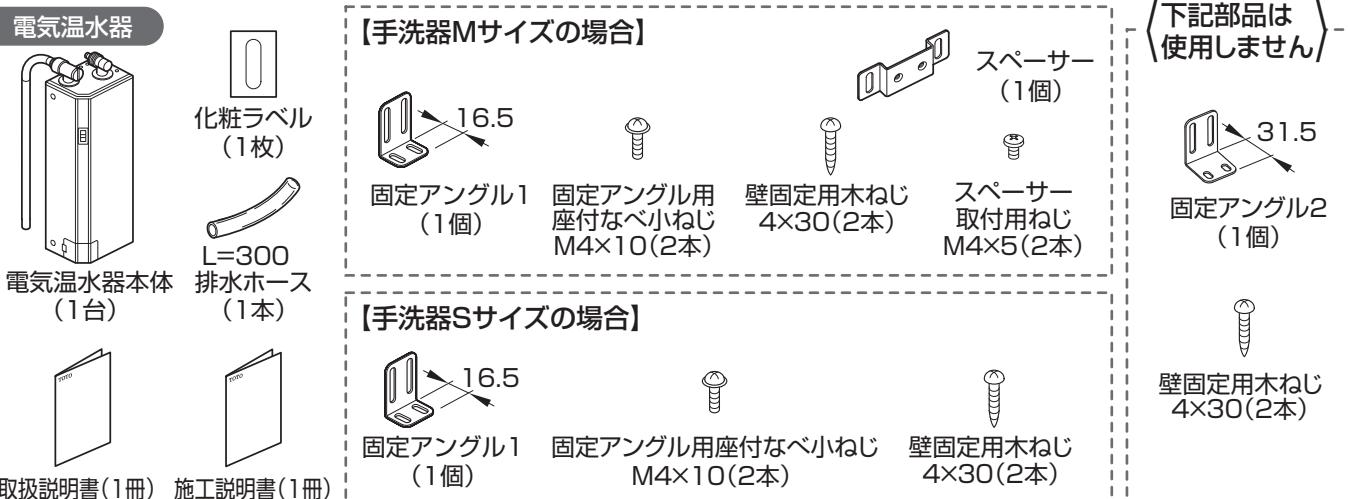
### <下記部品は使用しません>



## その他包装（つづき）



## 商品選択されている場合に入っているもの



# 手順編

0.エンドパネル(オプション) ▶24	8.セットタンク ▶43
1.壁掛大便器スタンド ▶25	9.ウォシュレット ▶46
2.止水栓 ▶27	10.前板(上) ▶48
3.壁側板(手洗器設置側) ▶33	11.棚板・ タンク上収納底板用アングル材 ▶49
4.排水接続管 ▶34	12.扉 ▶51
5.コアキャビネット ▶37	13.固定扉・天板 ▶53
6.大便器 ▶40	
7.タンク接続管 ▶42	

	手洗器サイズ	Mサイズ	Sサイズ
14.手洗器キャビネット・カウンター		▶55	▶67
15.手洗器		▶62	▶75
16.試運転・確認		▶80	
17.流動レバー		▶85	
18.給水フィルターの清掃		▶85	
19.天板		▶86	
20.器具類		▶89	
21.仕上げ		▶90	
引渡し前の点検		▶裏表紙	

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。  
手締めしてください。



下穴を開けてください。  
(例:φ3の場合)



シールテープを巻いてください。



カットしてください。



ボードアンカーを差し込んでください。



けがきをしてください。

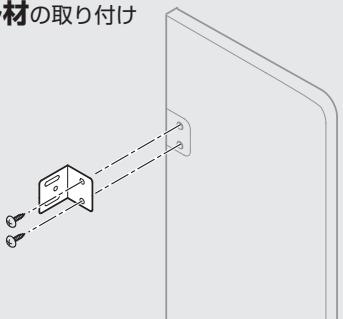


水平器で水平・垂直確認してください。

## 0.エンドパネル(オプション)

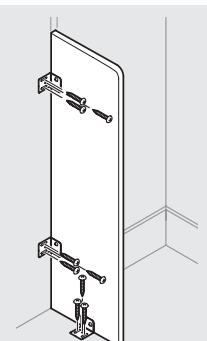
【エンドパネルがない場合】  
P.25「1.壁掛大便器スタンド」から作業してください。

### 1 アングル材の取り付け



▶P.24

### 2 エンドパネルの取り付け



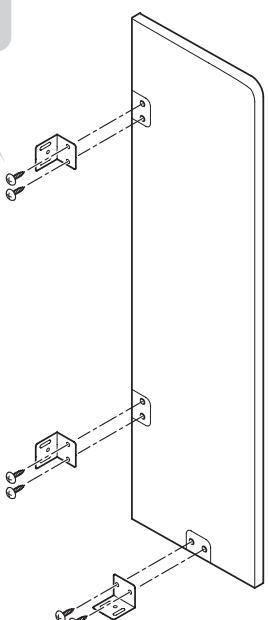
▶P.24

### 1 アングル材の取り付け

①

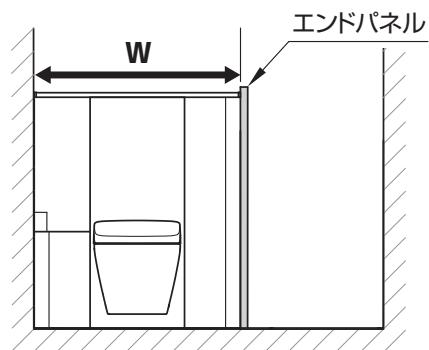
ト拉斯タッピンねじ  
4×12(6本)

手締めで



### 2 エンドパネルの取り付け

#### 間口寸法Wの測定範囲



ト拉斯タッピンねじ  
4×30(9本)

②

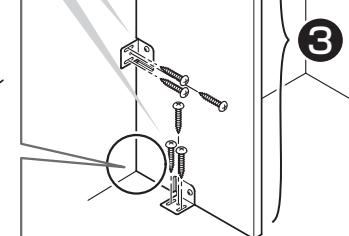
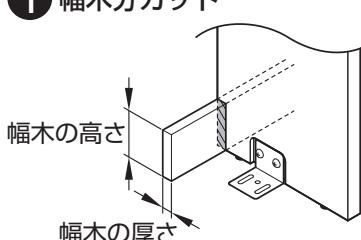
けがき → 下穴

間口寸法W  
18

$\phi 3$

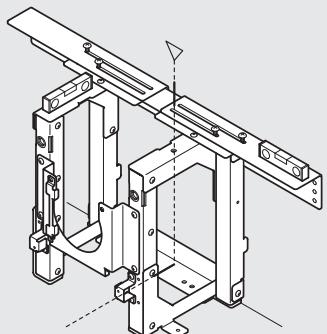
#### 【幅木がある場合】

##### 1 幅木分カット



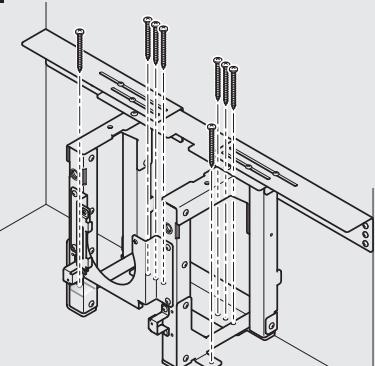
# 1.壁掛大便器スタンド

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置



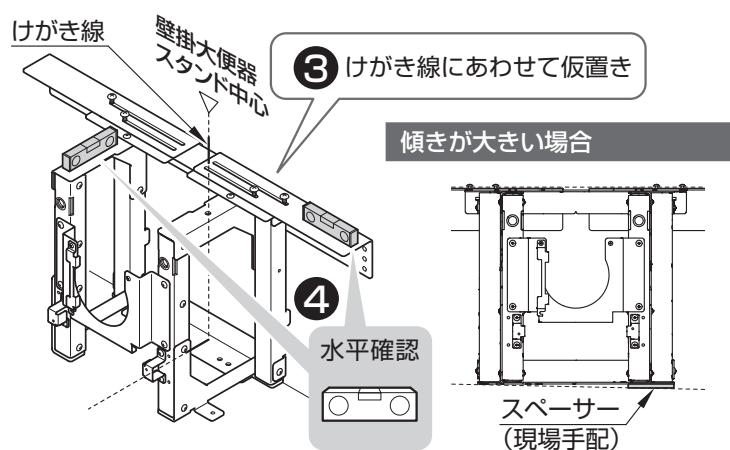
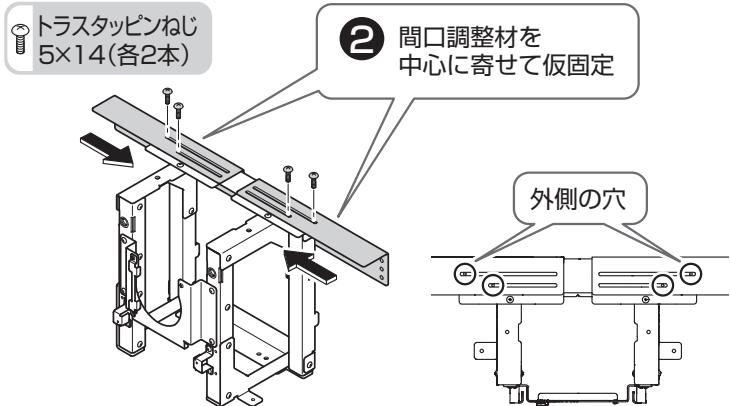
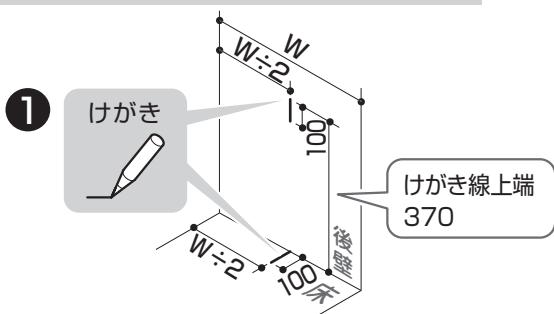
▶P.25

## 2 壁掛大便器スタンドの固定



▶P.25

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置

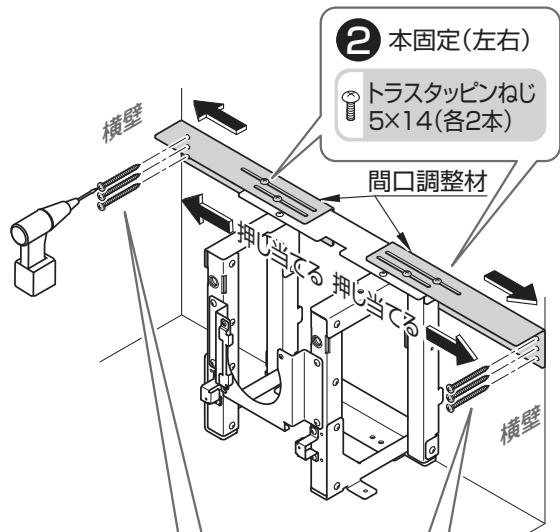


## 2 壁掛大便器スタンドの固定

### 注意



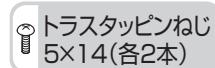
横壁と間口調整材とにすき間があかないようにする  
商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。



### 1 (左右)

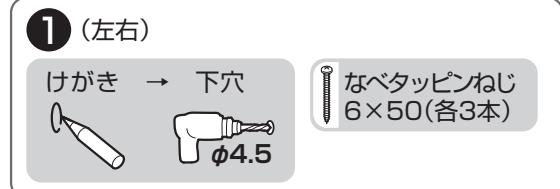


### 2 本固定(左右)



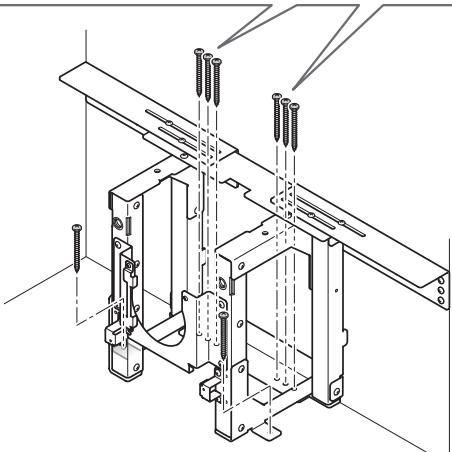
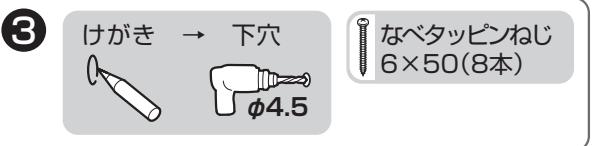
間口調整材

横壁

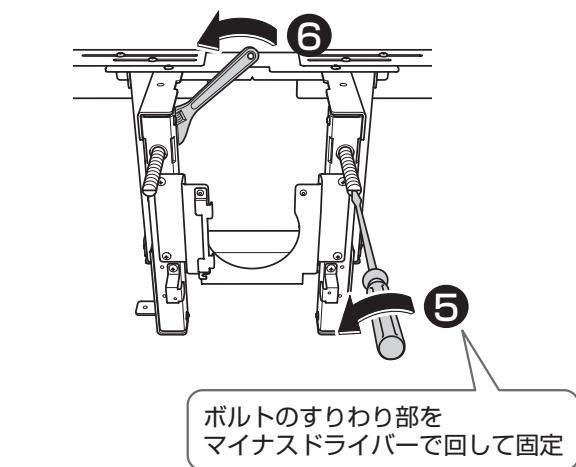
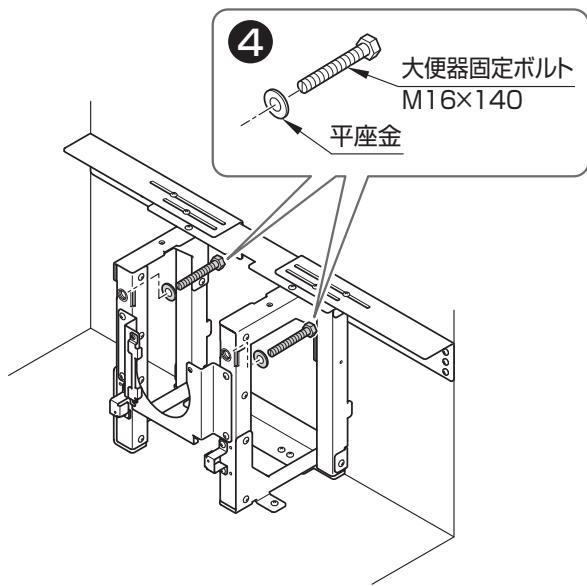


給水新設

既存給水流用



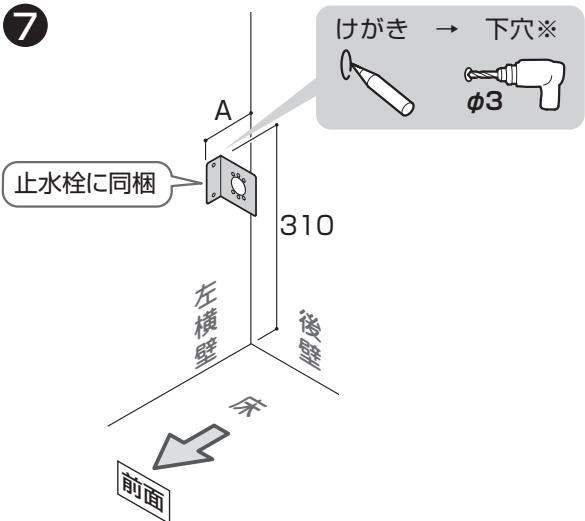
\*予備のねじが2本残ります。



**ポイント**

大便器固定ボルトの頭部分をスパナなどの工具で最後までしっかりと締め付ける。

既存給水流用の場合



\*【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



排水方向		A
床排水		85
壁排水	後ろ抜き	
	右抜き	
	左抜き	170

MEMO

## 2.止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

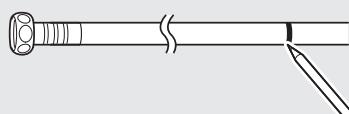
### 1 止水栓・分岐金具の取り付け



▶P.27

給水  
新設給水  
既存  
流用▶P.29 一般地／流動方式  
▶P.31 水抜方式

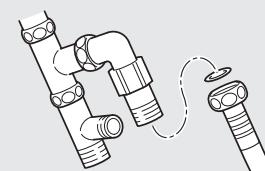
### 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))



▶P.28

▶P.29 一般地／流動方式  
▶P.31 水抜方式

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



▶P.28

▶P.30 一般地／流動方式  
▶P.32 水抜方式

## 給水新設

### 1 止水栓・分岐金具の取り付け

#### ポイント

**左右勝手とも取付位置は正面  
向かって左**

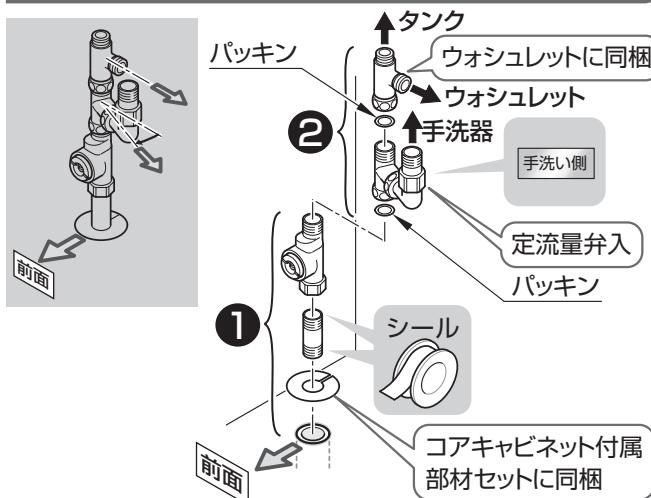
#### 注意



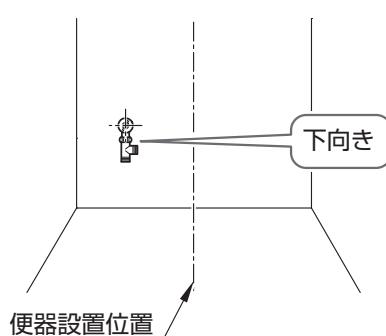
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)  
を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物  
が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起  
こすおそれがあります。

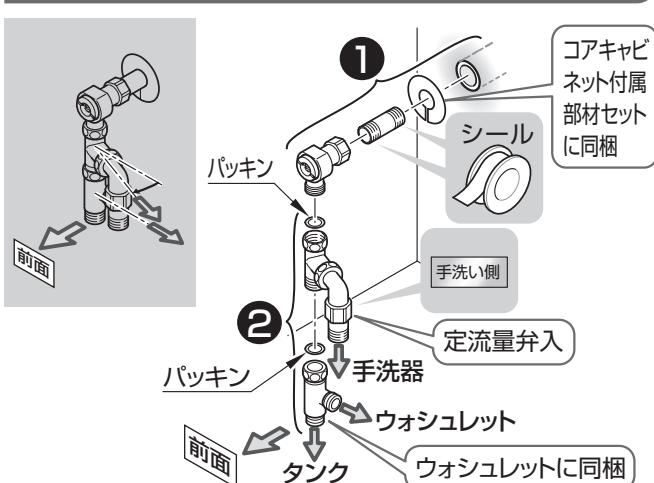
#### 床給水



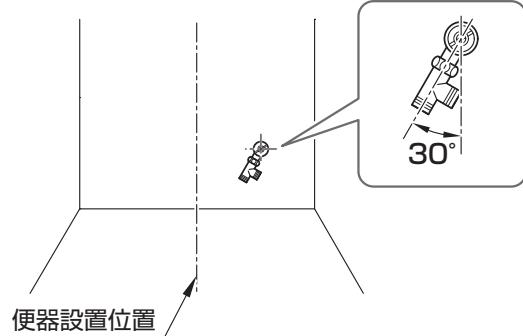
【床排水／壁排水 後ろ抜き 右抜きの場合】



#### 壁給水

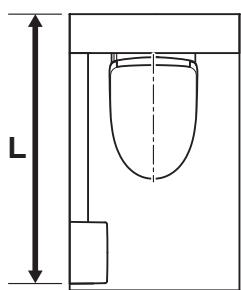


【左抜きの場合】



## 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))

### 奥行寸法Lの測定範囲



手洗器Mサイズ

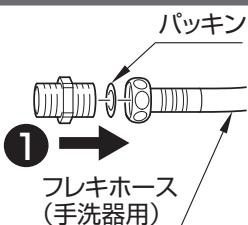
手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)  
L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)  
L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)

手洗器側  
フレキホース  
(手洗器用)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓



L+175

手洗器側

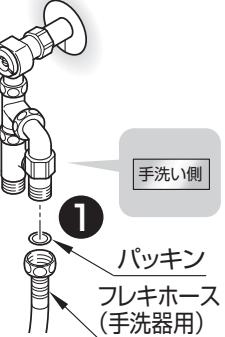
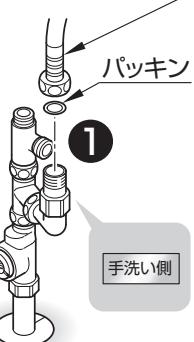
けがき

## 3 フレキホース(手洗器用) の取り付け

床給水

壁給水

フレキホース(手洗器用)



### 2 ホースクランプ(カウンターセットに同梱) で固定する

\*フレキホース(手洗器用)の  
取り回しは下欄参照



### フレキホース(手洗器用)の取り回し例

#### 警告



ホースは電源プラグ・コンセントの上  
を通したり、電源プラグ・コンセント  
に接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水が  
かかり、火災や感電の原因となります。

全タイプ共通 注意事項・マーク説明

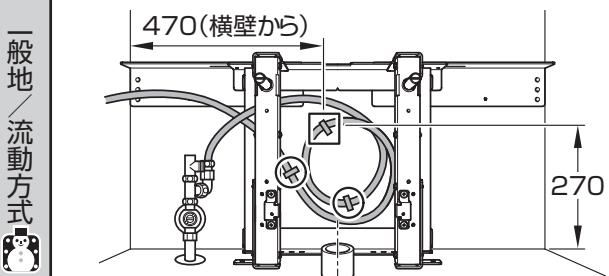
- : ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)
- : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

水抜方式の場合

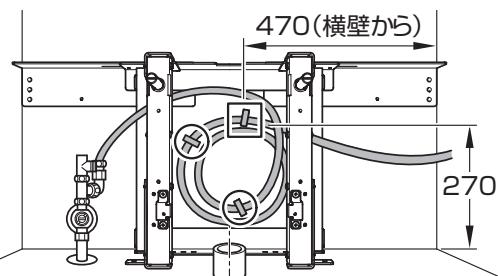
\*ホース取り回しは床から175mm  
以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合が  
あります)

#### 床給水

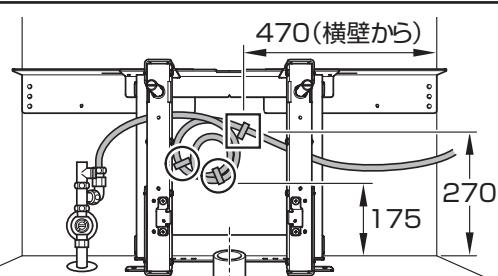
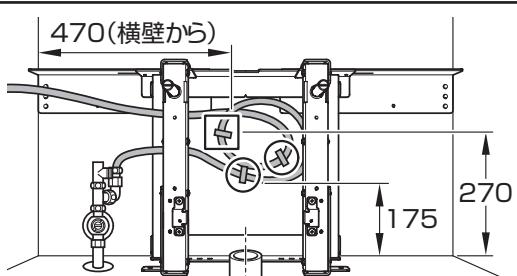
##### 左勝手



##### 右勝手

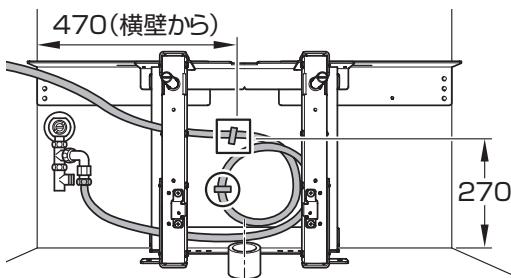


##### 水抜方式

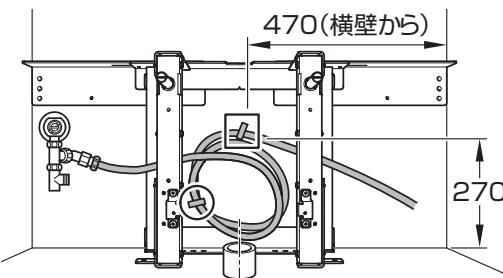


## 壁給水

## 左勝手



## 右勝手

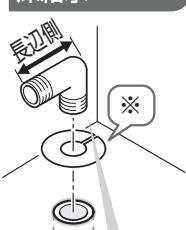


## 既存給水流用 一般地／流動方式

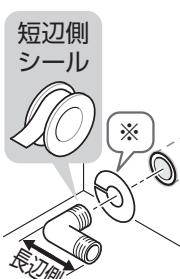
## 1 止水栓・分岐金具の取り付け

※配管用化粧カバーは「コアキャビネット付属部材セット」に入っています。

## 1 床給水



## 壁給水



## 注意

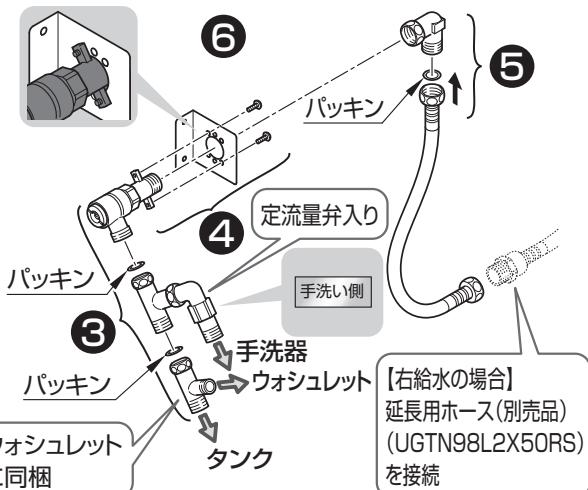


必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける  
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

なべ小ねじ  
M4×8 (2本)

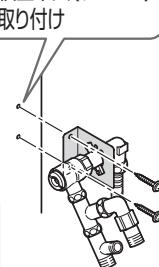
## 2



## 7

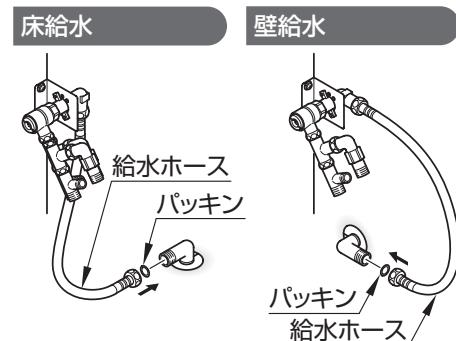
座付タッピングねじ  
4.5×38 (2本)【エンドパネルに壁側板  
を取り付けている場合】

## 必ず使用

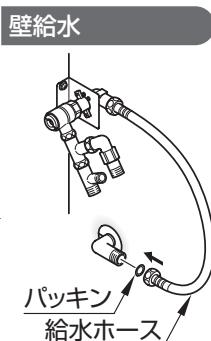
「エンドパネル」に同梱  
トラスタッピングねじ  
4×12(2本)事前にあけた  
左横壁下穴(▶P.26)  
に取り付け

## 8

## 床給水

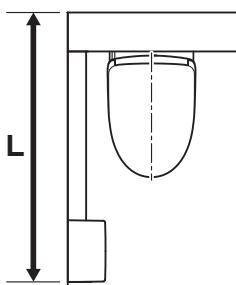


## 壁給水

給水ホースの取り回しは  
▶P.30 給水ホース 参照

## 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け(フレキホース(手洗器用))

## 奥行寸法Lの測定範囲



## 手洗器Mサイズ

## 手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)  
L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)  
L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)

## 手洗器側

フレキホース  
(手洗器用)

## けがき

## 手洗器Sサイズ ハンドル式水栓



L+175

## 手洗器側

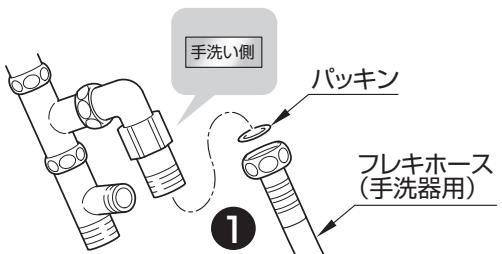
けがき

## けがき

給水新設

既存給水流用

## 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する

フレキホース(手洗器用)の取り回しは

▶P.31 フレキホース(手洗器用) 参照



### 給水ホースの取り回し

	給水位置が壁掛大便器 スタンドの左の場合	給水位置が壁掛大便器 スタンドの内部の場合	給水位置が壁掛大便器スタンドの 右の場合
壁給水			
床給水			

フレキホース(手洗器用)

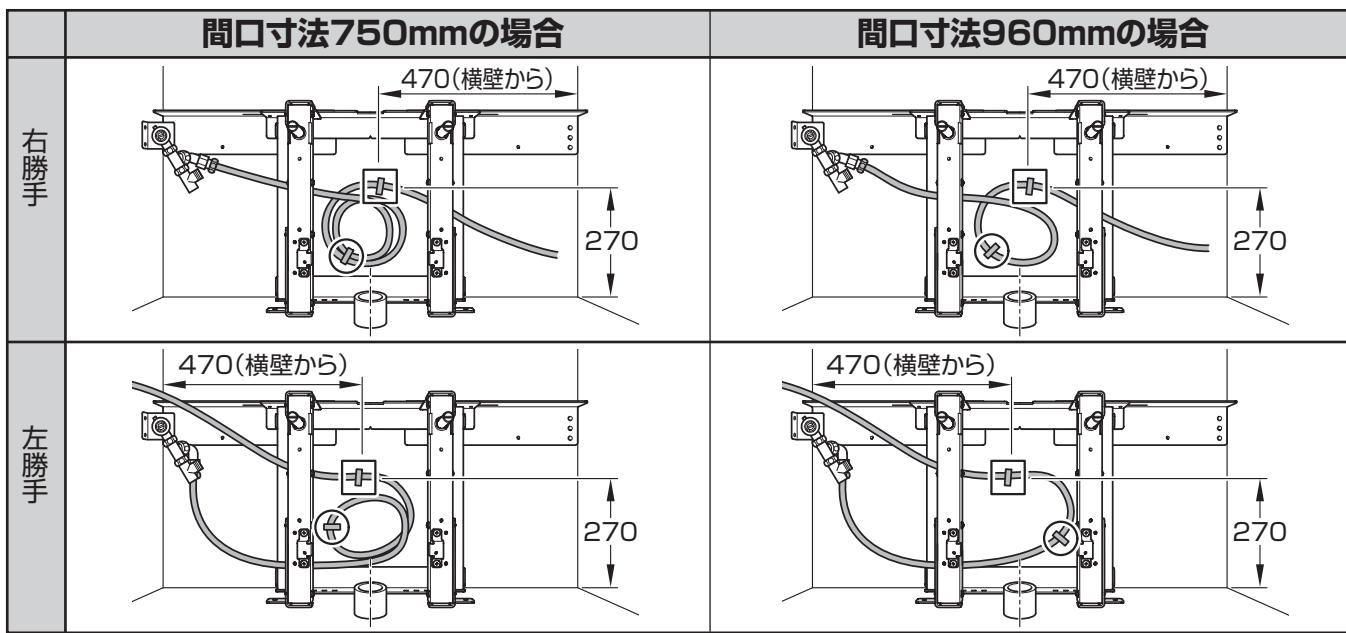
**警告**



ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)

ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)



**既存給水流用 水抜方式**

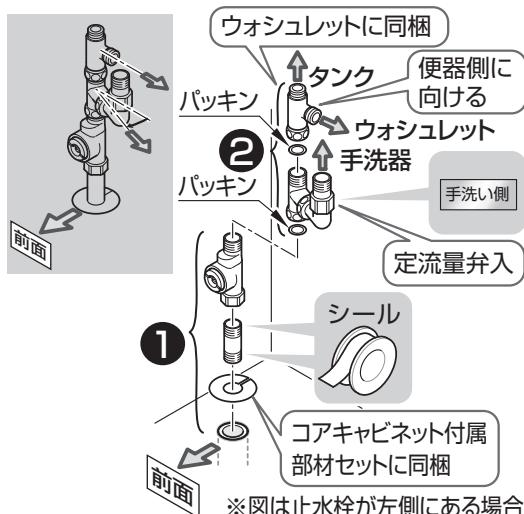
**1 止水栓・分岐金具  
の取り付け**

**2 ホースクランプ 固定位置マーク付け  
(フレキホース(手洗器用))**

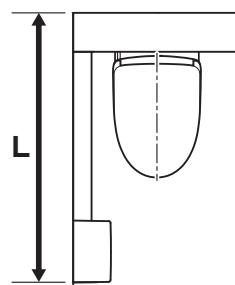
**注意**



止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓  
(フィルター付き)を取り付ける  
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。



**奥行寸法Lの測定範囲**



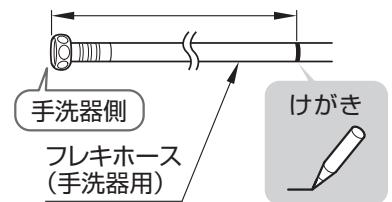
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

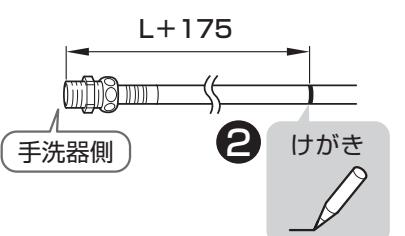
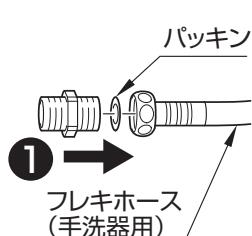
L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)

L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)

L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

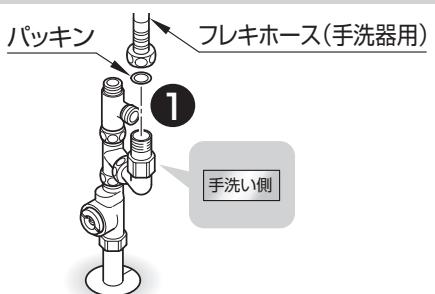


給水新設

既存給水流用

2

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する  
フレキホース(手洗器用)取り回しは下欄参照



#### フレキホース(手洗器用)の取り回し例

: ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)  : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合があります)

#### 警告



ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、  
電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や  
感電の原因となります。

間口寸法750mmの場合		間口寸法960mmの場合	
右勝手水抜方式	給水が左側	右勝手水抜方式	給水が左側
給水が右側		給水が右側	
左勝手水抜方式	給水が左側	左勝手水抜方式	給水が右側
給水が右側		給水が右側	

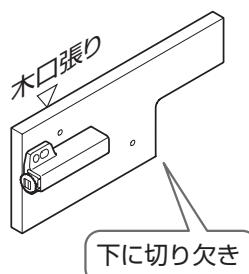
### 3.壁側板(手洗器設置側)

3

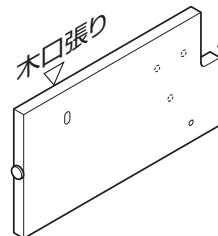
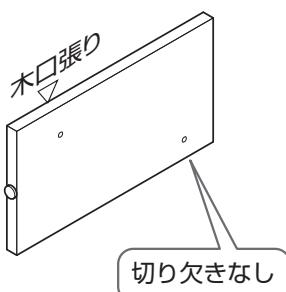
壁側板  
(手洗器設置側)

#### 壁側板の種類

A



B



※まるごと収納タイプの場合に使用

上に切り欠き

▶P.38「5.コアキャビネット」

③ 壁側板の取り付けで使用

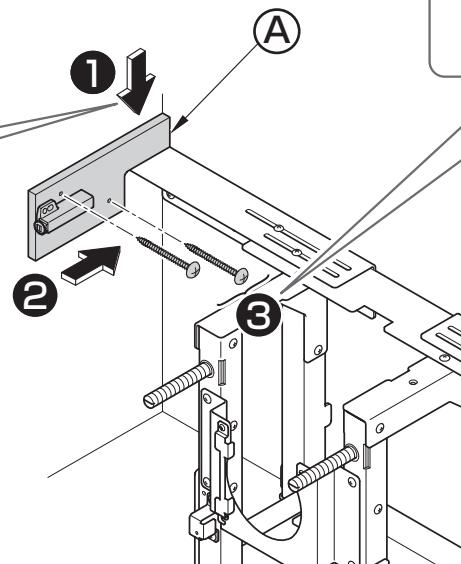
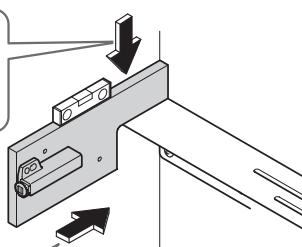
### 1 壁側板(手洗器設置側)の設置

- 1 壁掛大便器  
スタンドに  
突き当てる

水平確認



- 2 壁に  
突き当てる



③

けがき → 下穴※

トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

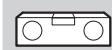
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

#### まるごと収納タイプの場合

- 5 壁に  
突き当てる

水平確認



4



5



6

けがき → 下穴※

トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

※【壁裏補強なしの場合】

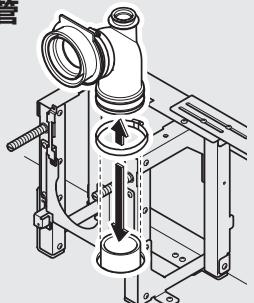
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

750

A

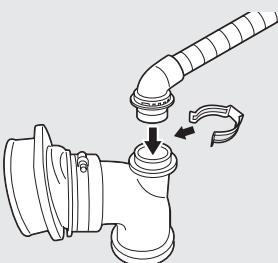
## 4. 排水接続管

### 1 排水接続管の取り付け



▶P.34

### 2 手洗器用排水ホースの取り付け



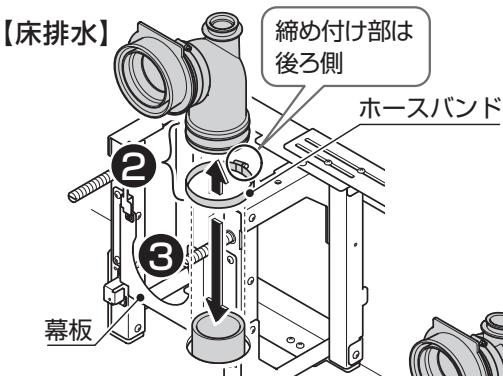
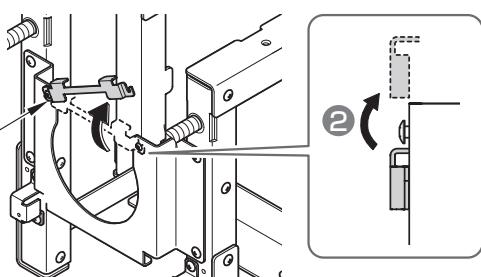
▶P.36

### 1 排水接続管の取り付け

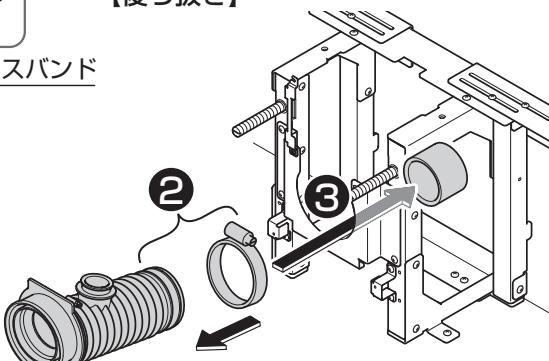
- ① ソケット押え板を上げておく ソケット押え板

① テープ留めを外す

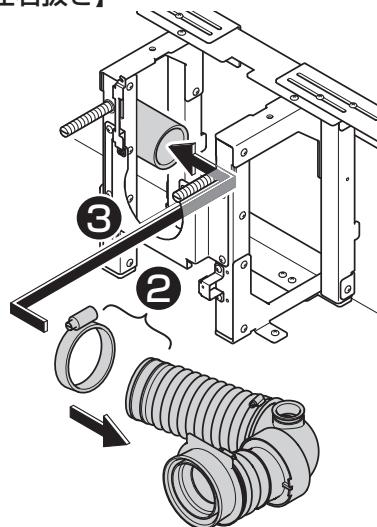
② リベットを乗り越えて、上げておく



#### 【後ろ抜き】



#### 【左右抜き】

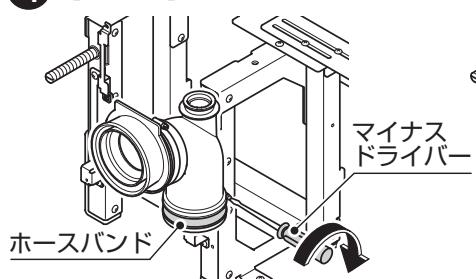


### 注意

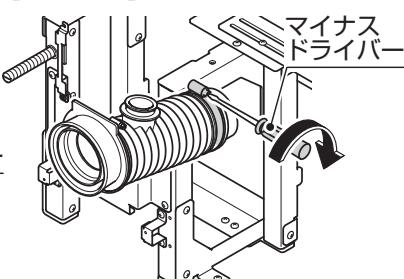


必ず守る 手洗排水合流部が真上になるように、排水接続管を接続する排水接続管が水平にならず、逆勾配になることがあります。

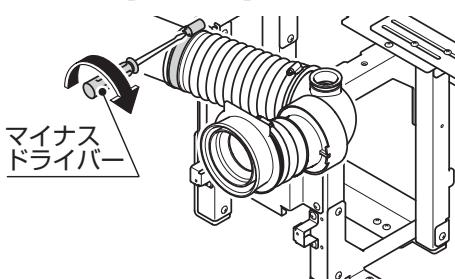
### 4 【床排水】



### 【後ろ抜き】



### 【左右抜き】

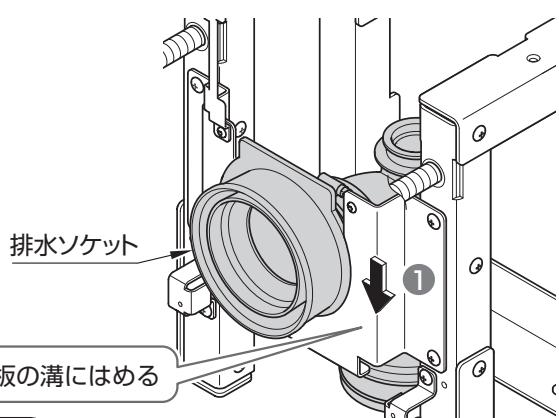


### 注意

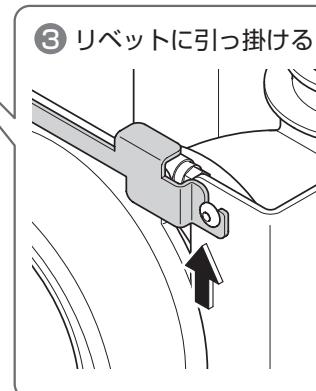
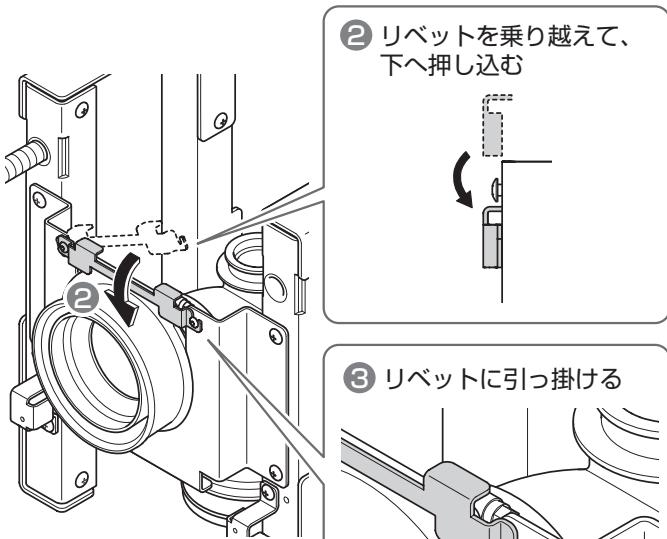
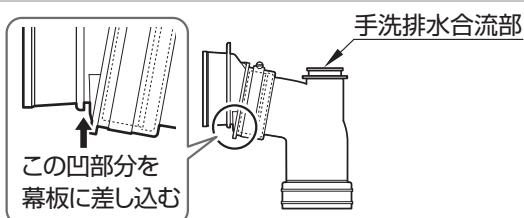


必ず守る ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない  
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## ⑤ 排水ソケットの固定

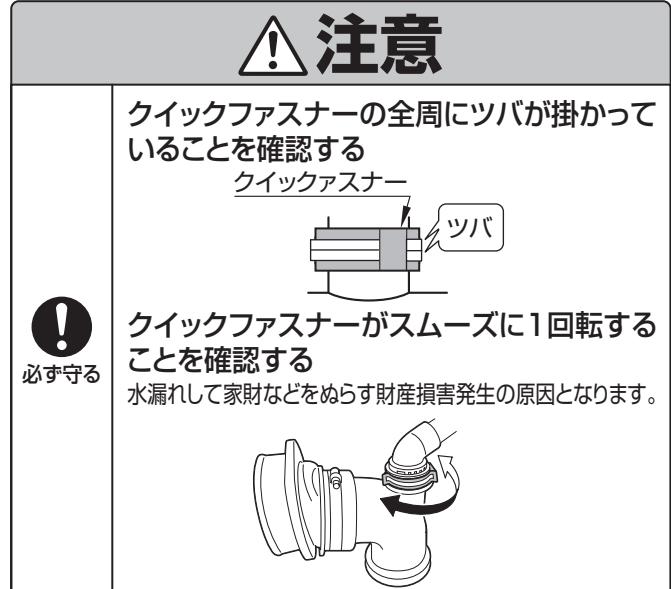
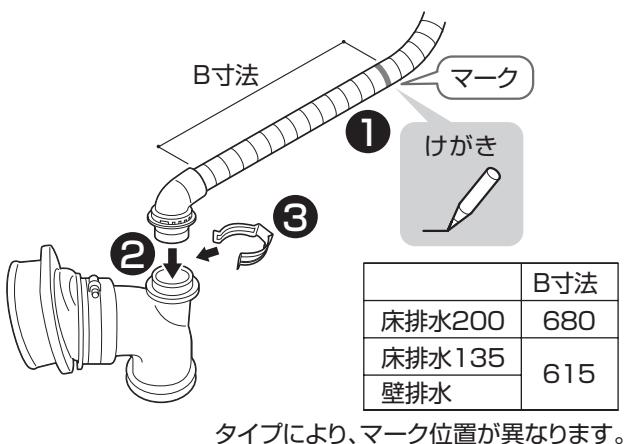


### ポイント



# MEMO

## 2 手洗器用排水ホースの取り付け

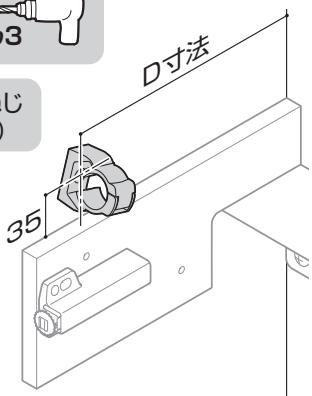


### 4 配管固定材を横壁に取り付け

けがき → 下穴※



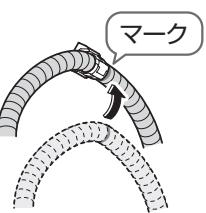
皿タッピンねじ  
4×40(1本)



	D寸法
床排水200	245
床排水135	180
壁排水	

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)  
φ10

### 5 ホースを配管固定材に固定

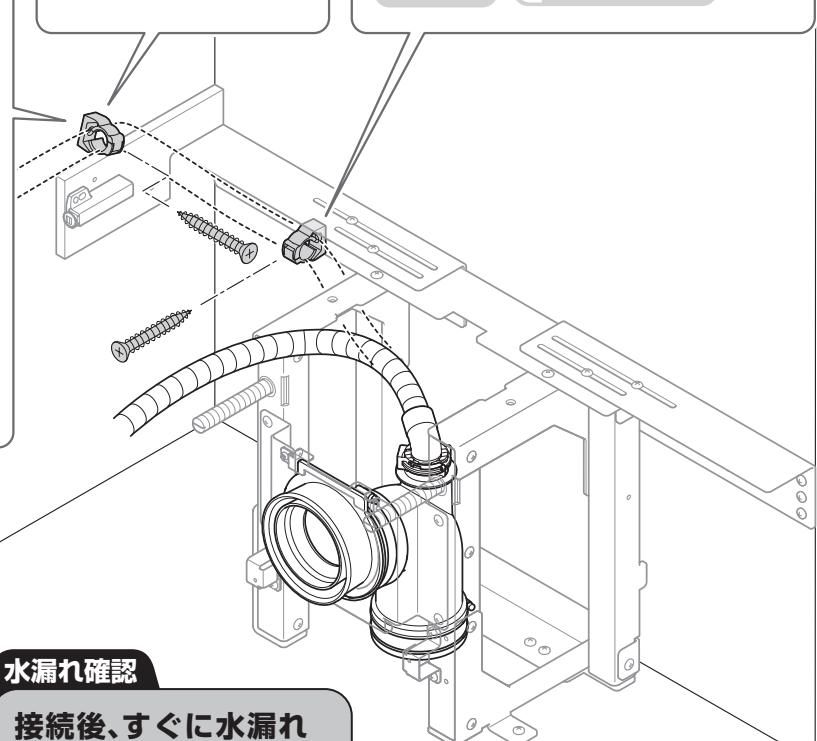


### 6 壁掛大便器スタンド間口調整材の下穴にあわせて配管支持材を取り付けてホースを配管固定材に固定

下穴



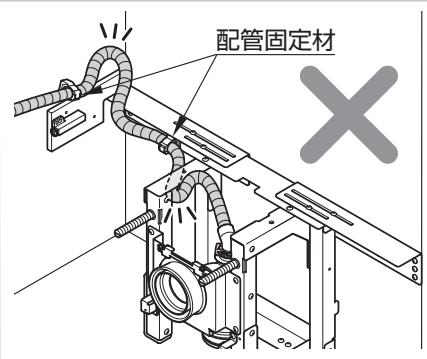
皿タッピンねじ  
4×40(1本)



### 逆勾配注意

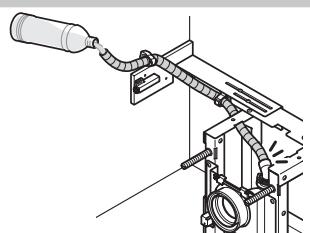
#### 手洗器用排水ホースがたるまないように固定する

手洗器から異音発生のおそれがあります。



### 水漏れ確認

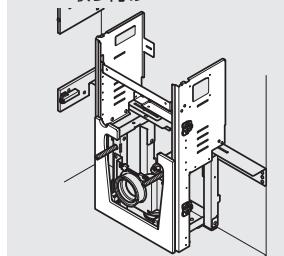
#### 接続後、すぐに水漏れ確認する



※図は手洗器が左勝手の場合です。  
右勝手の場合は、左右反転となります。

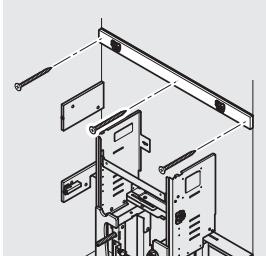
## 5.コアキャビネット

### 1 コアキャビネットの取り付け



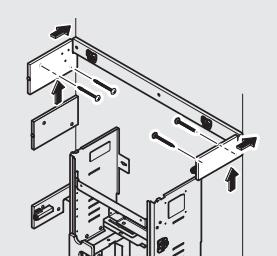
▶P.37

### 2 後横さんの取り付け



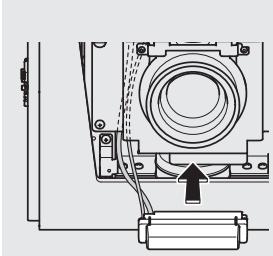
▶P.38

### 3 壁側板の取り付け



▶P.38

### 4 照明部材の取り付け

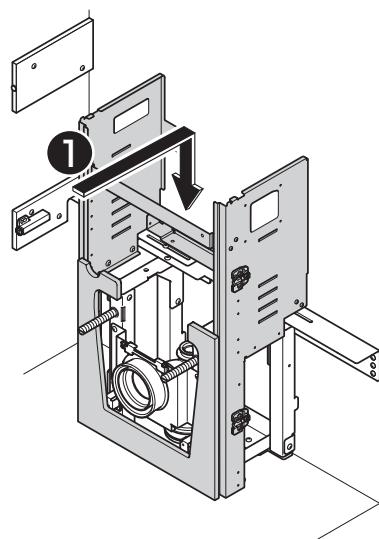


▶P.39

5

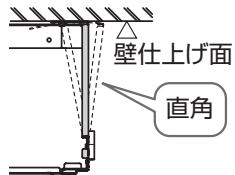
コアキャビネット

### 1 コアキャビネットの取り付け



#### 注意

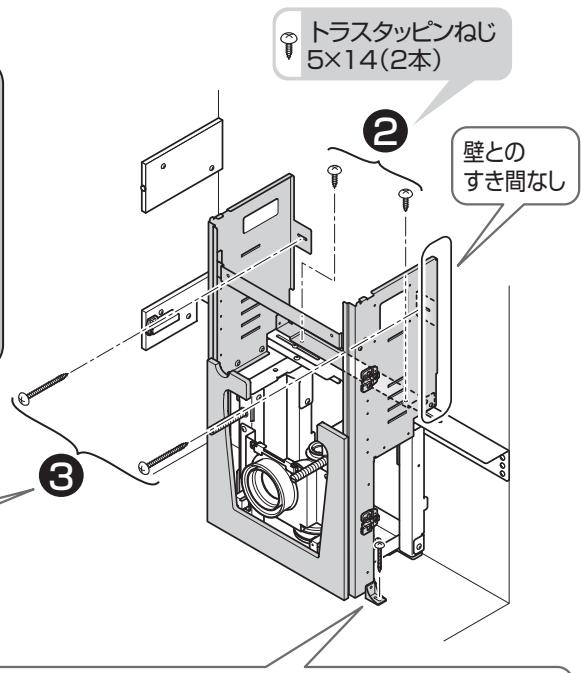
##### ねじ固定時に側板が曲がらないようにすること



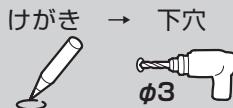
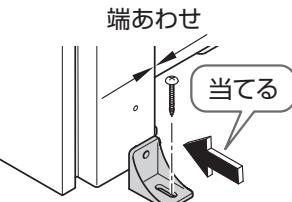
##### けがき → 下穴



##### トラスタッピンねじ 4×40(2本)



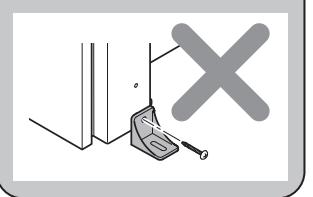
##### 4 アングル材を側板に当て、床に固定 (側板への固定は不要)(カウンター反対側に1カ所)



##### トラスタッピンねじ 4×30(1本)

#### 注意

##### 側板へ固定しない

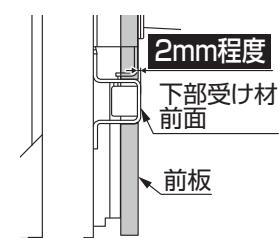
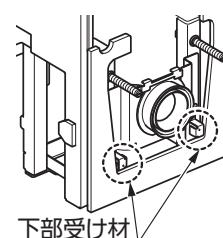
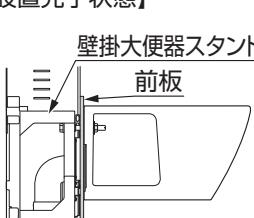


### ポイント

#### 下部受け材前面が前板より 2mm程度、前に出ていることを 確認する

下部受け材が壁仕上げ面より引っ込んでいると、前面に荷重がかかり破損するおそれがあります。

#### 【設置完了状態】



## 2 後横さんの取り付け

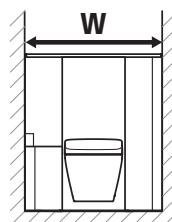
### ① 後横さんカット・穴あけ

#### ポイント

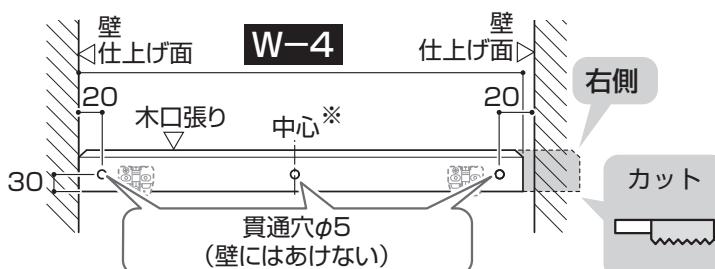
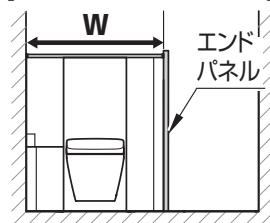
チッピングに注意!



#### 間口寸法Wの測定範囲



【エンドパネルありの場合】

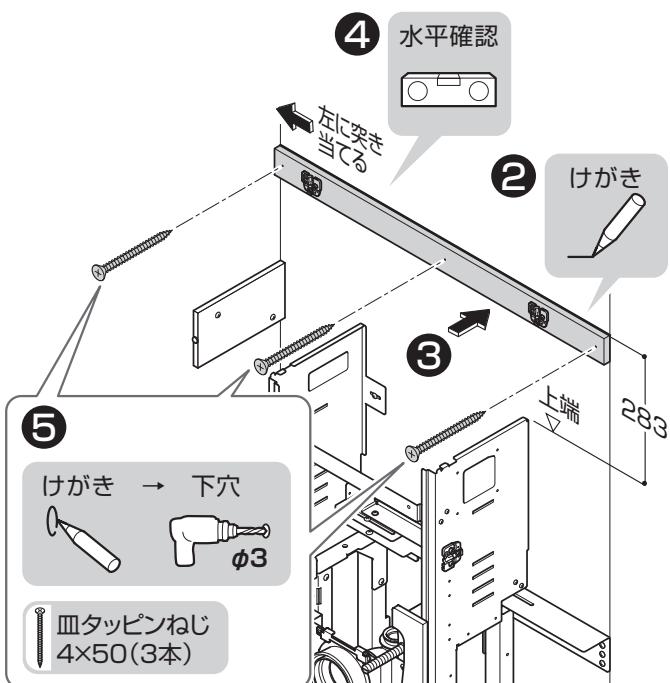


\*壁裏補強なしの場合は間柱中心

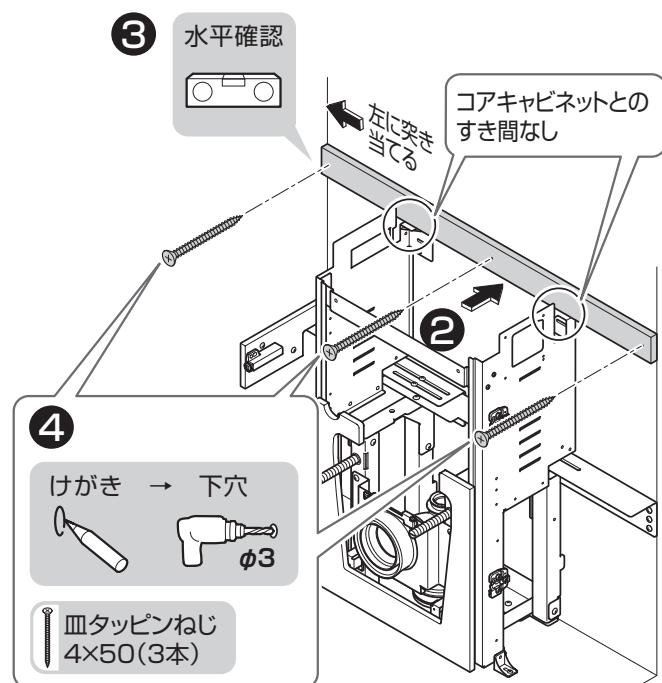
5

コアキャビネット

#### まるごと収納タイプの場合



#### すっきり収納タイプの場合

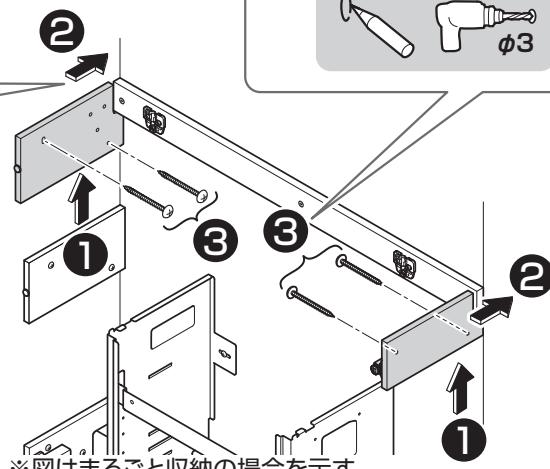


## 3 壁側板の取り付け

② 壁に突き当てる

水平確認

① 後横さんに突き当てる



③ けがき → 下穴  
φ3  
トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

\*【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)  
φ10

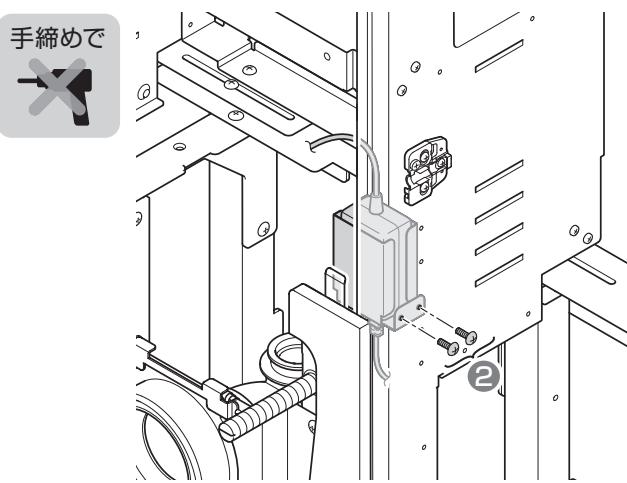
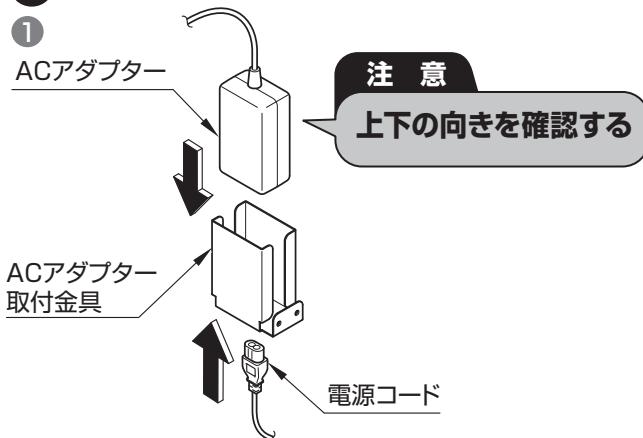
#### エンドパネルの場合

##### 必ず使用

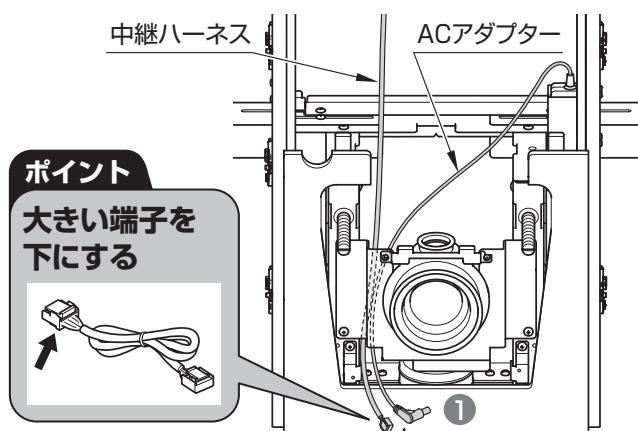
「エンドパネル」に同梱  
トラス小ねじ  
M4×18(2本)

## 4 照明部材の取り付け

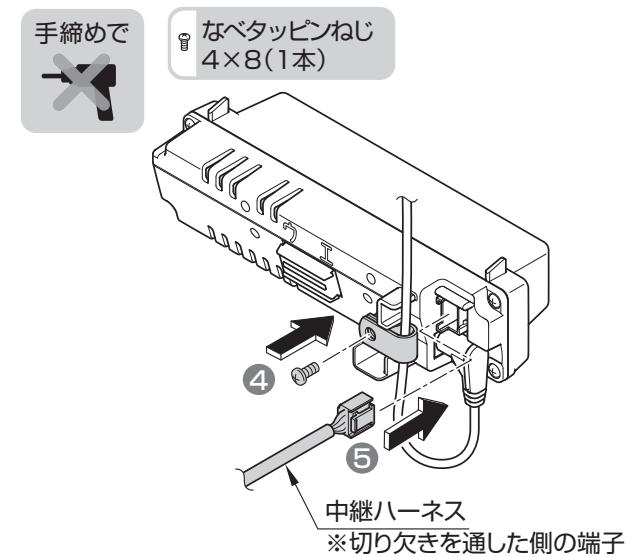
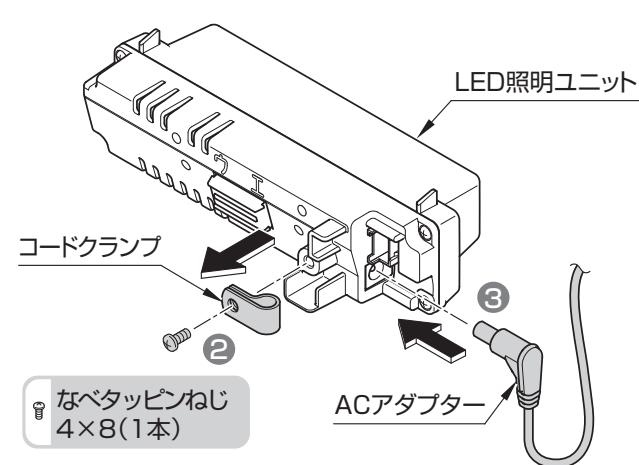
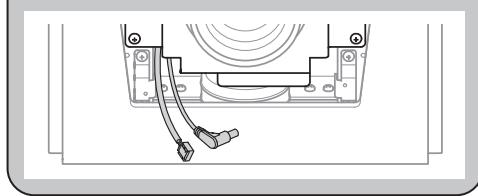
### ① ACアダプターの取り付け



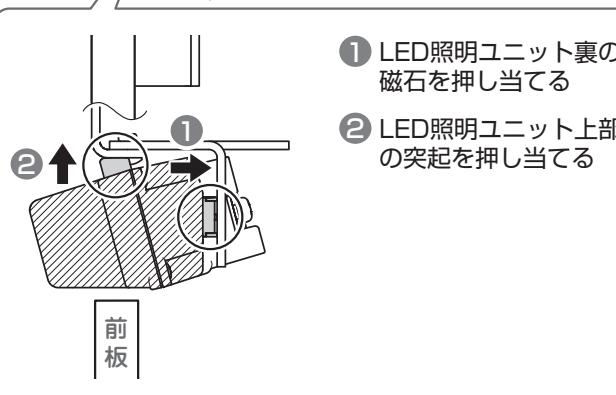
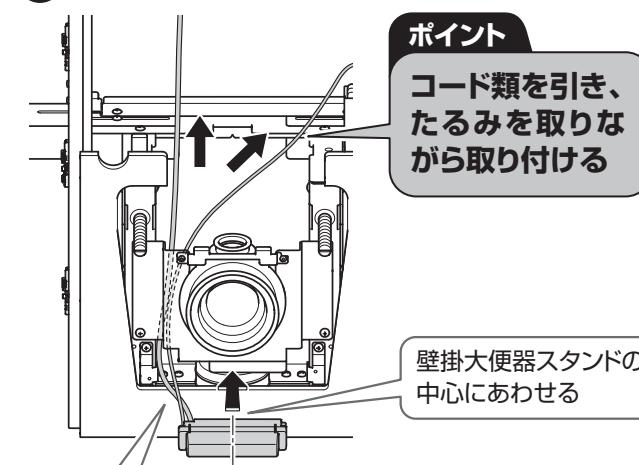
### ② LED照明ユニットの組み立て



ポイント  
左下の切り欠きを通す

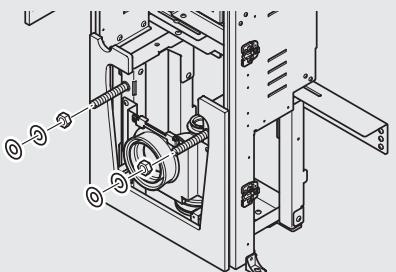


### ③ LED照明ユニットの取り付け



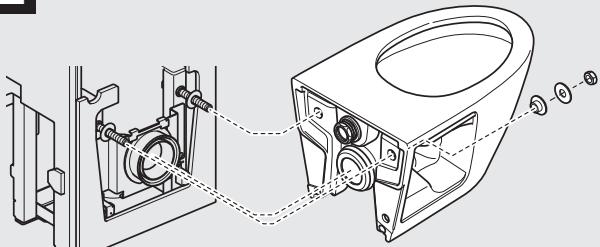
# 6.大便器

## 1 取り付けの準備



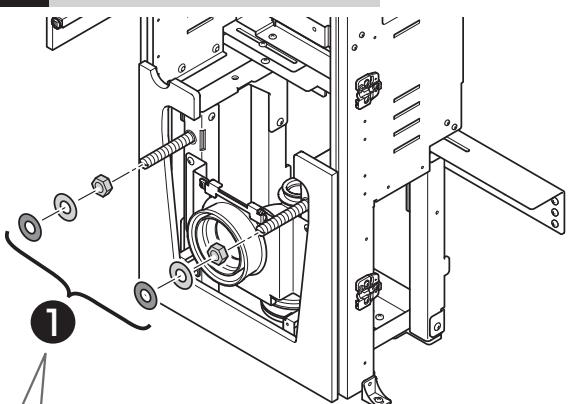
▶P.40

## 2 大便器の取り付け

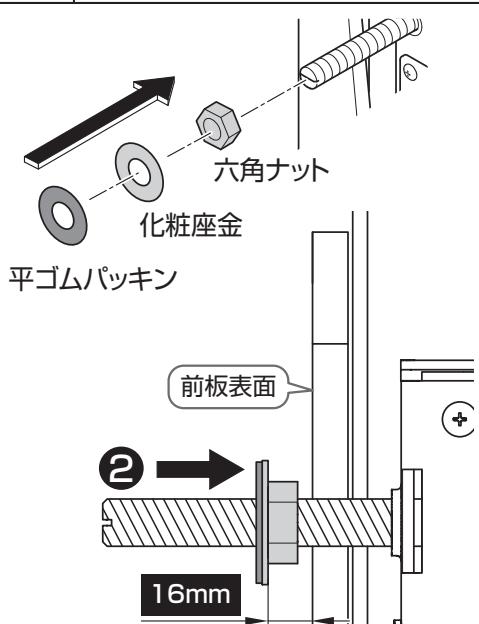


▶P.41

## 1 取り付けの準備



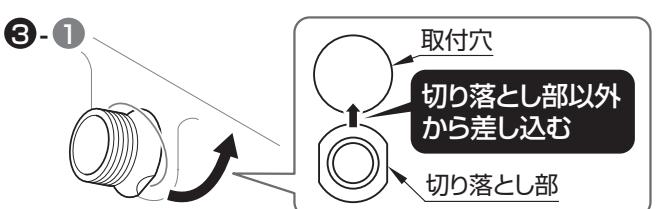
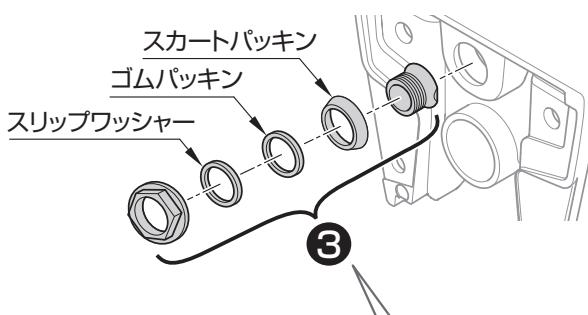
**注意**  
必ず守る  
化粧座金が前板表面より16mmの位置になるように調整する  
前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。



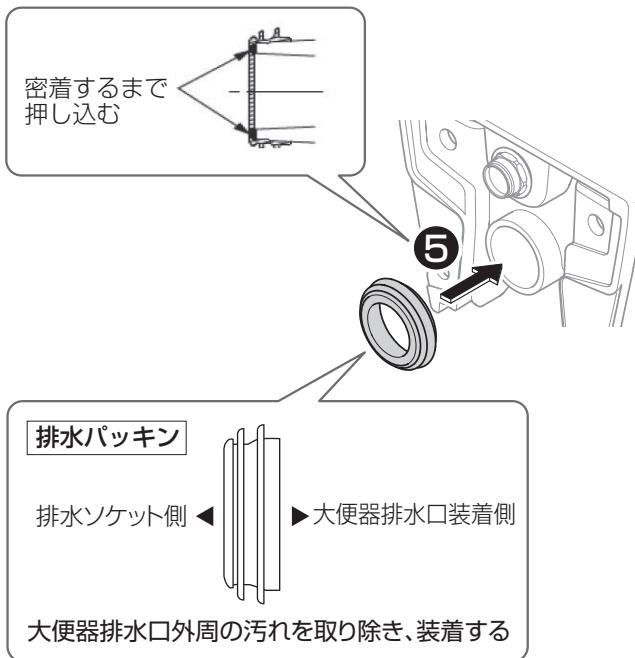
## 注意



大便器の底にはってある断熱材は、はがさない  
はがしたり傷つけたりすると結露した水によって家財  
などをぬらす財産損害発生の原因となります。



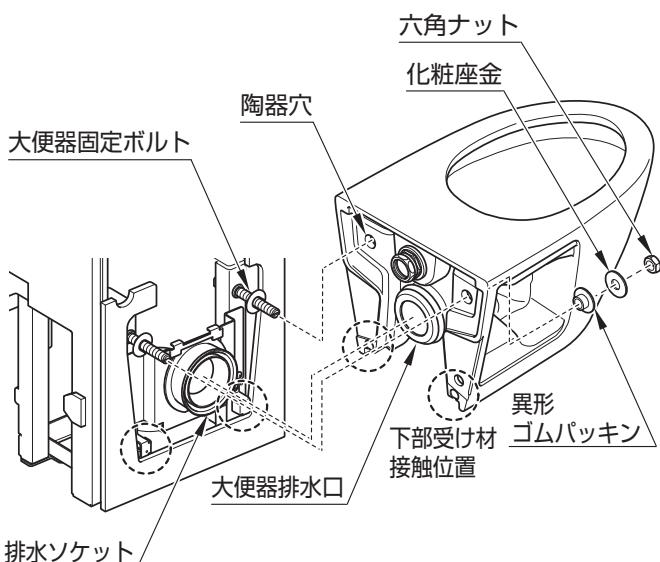
#### ④ 排水パッキンに水または水石けんを付ける



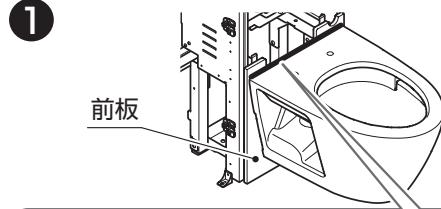
#### ! 注意

	グリスは使用しない 劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水パッキンに必ず水または水石けんを付けてから差し込む 排水パッキンがよれたり切れたりし、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</li> <li>排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</li> </ul>

## 2 大便器の取り付け



#### 1



#### ! 注意



- ・大便器を工具で締め付ける前に、大便器上面のすき間が2mm程度であること、大便器の裏面に平ゴムパッキンが接触していることを確認する
- ・すき間が2mm程度でない場合は、化粧座金から前板表面までの寸法16mmを微調整する工具で締め付けた際、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

#### 注意

#### コード類を挟み込まないこと

#### 2 排水接続管が逆勾配にならないように確認・調整

#### 3 上部の六角ナットを交互に工具で締め付け 本固定

#### ! 注意

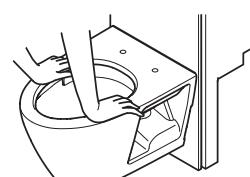


- パッキンの擦れる音がするまで六角ナットを締め込まない  
破損するおそれがあります。

#### 4 ぐらつきおよび異音有無の確認

便器先端に両手で荷重をかけ

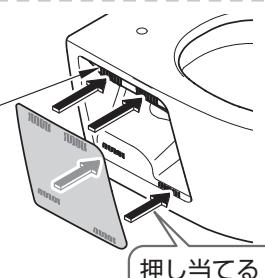
- 便器がぐらつかないこと
- 異音発生のないこと
- 前板と大便器のすき間は2mm程度のこと
- 便器下部受材に大便器が接触していること



#### 5 サイドカバー取り付け

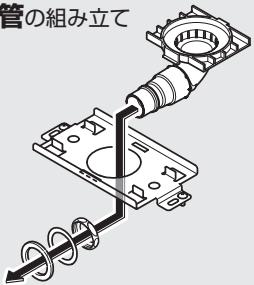
サイドカバー  
取付境界線

\*面ファスナー部(4力所)  
をしっかりと押さえて、  
サイドカバーが外れない  
ことを確認してください。



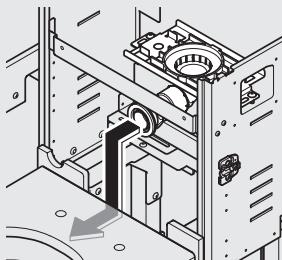
## 7. タンク接続管

### 1 タンク接続管の組み立て



▶P.42

### 2 タンク接続管の取り付け



▶P.42

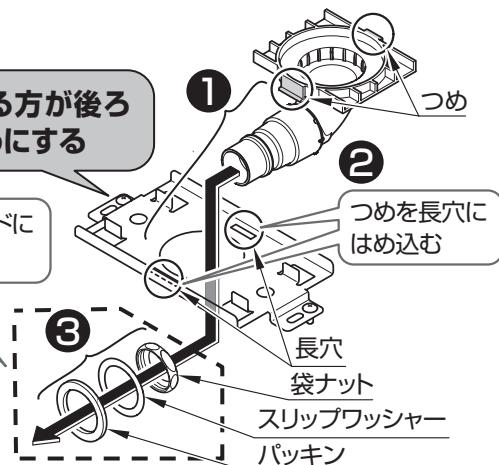
## 7

### 1 タンク接続管の組み立て

#### ポイント

ねじがある方が後ろ  
になるようにする

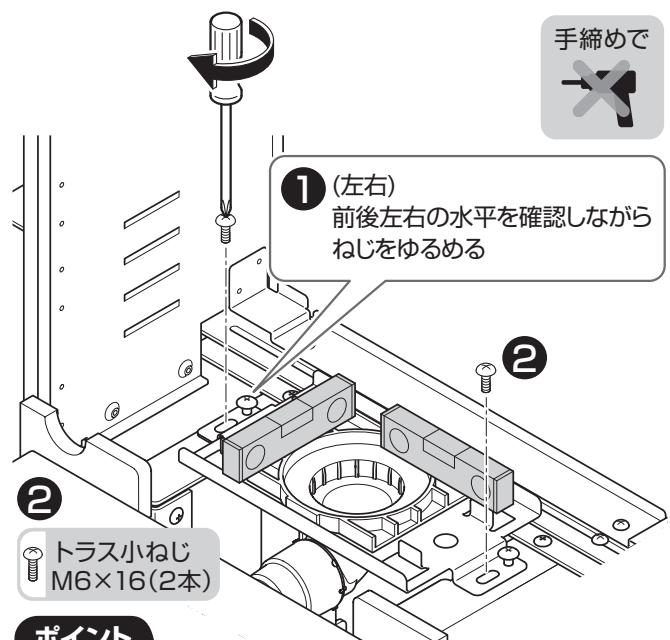
大便器スパッドに  
同梱



#### 注意



袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの  
取付順番を間違えないようにする  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因  
となります。

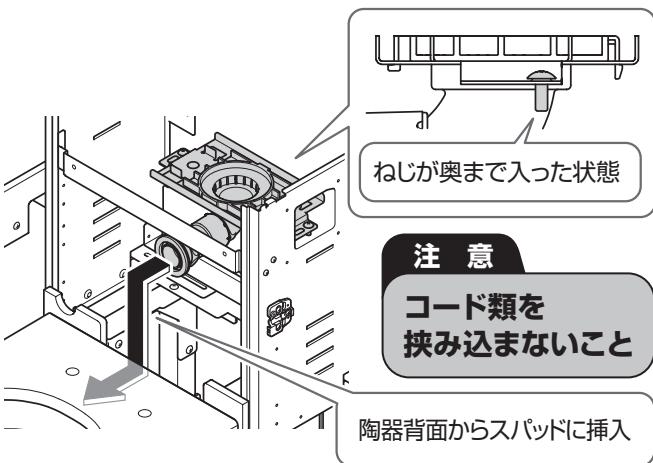


#### ポイント

#### 下記内容を確認してください。

- ・タンク接続管がスパッドの奥に当たっていること
  - ・タンク接続管が前後左右水平であること
  - ・ねじにゆるみ、がたつきがないこと
- ※タンク接続管が水平でない場合、あとでタンクを設置した際、タンクが傾きキャビネットや照明部材と干渉します。

### 2 タンク接続管の取り付け



陶器背面から視点

モーターレンチ

③ 締め付ける

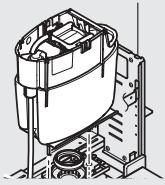
#### 注意



袋ナットは工具で確実に締める  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因  
となります。

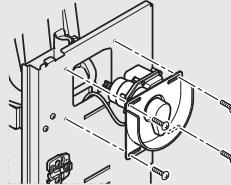
# 8. セットタンク

## 1 セットタンクの取り付け



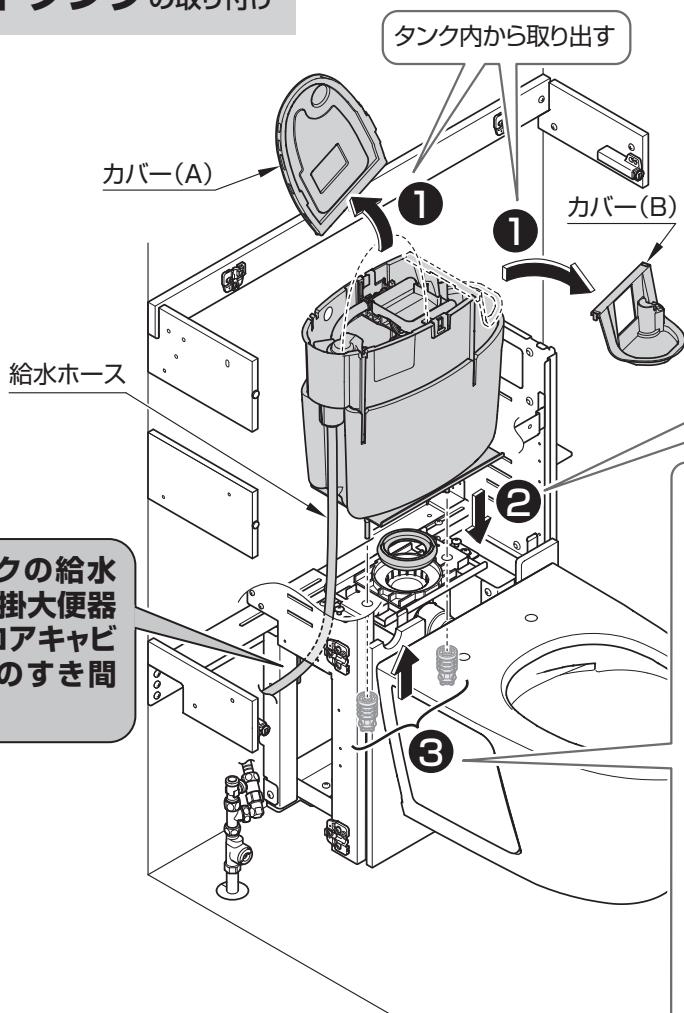
▶P.43

## 2 洗浄レバーの取り付け



▶P.45

## 1 セットタンクの取り付け



### 2 タンク接続管に載せる

#### 注意



必ず守る  
タンクにパッキンがセットされていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

#### 注意

コード類を挟み込まないこと

### 固定ナットの取り付けかた

#### 注意



必ず守る  
左右の固定ナットを確実に締める  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う  
工具を使用すると破損するおそれがあります。

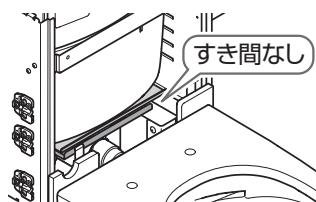


固定ナットを手締めで  
かたく締め付ける。

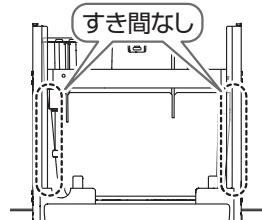
## 4 すき間確認

\*タンクがキャビネット側板に干渉している場合は、タンクを外して、タンク接続管が傾いていないか、確認してください。

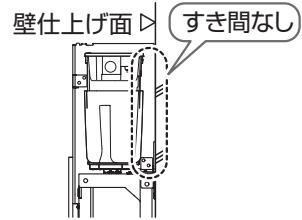
□タンク接続管とタンク下部の  
板金(黒)との間

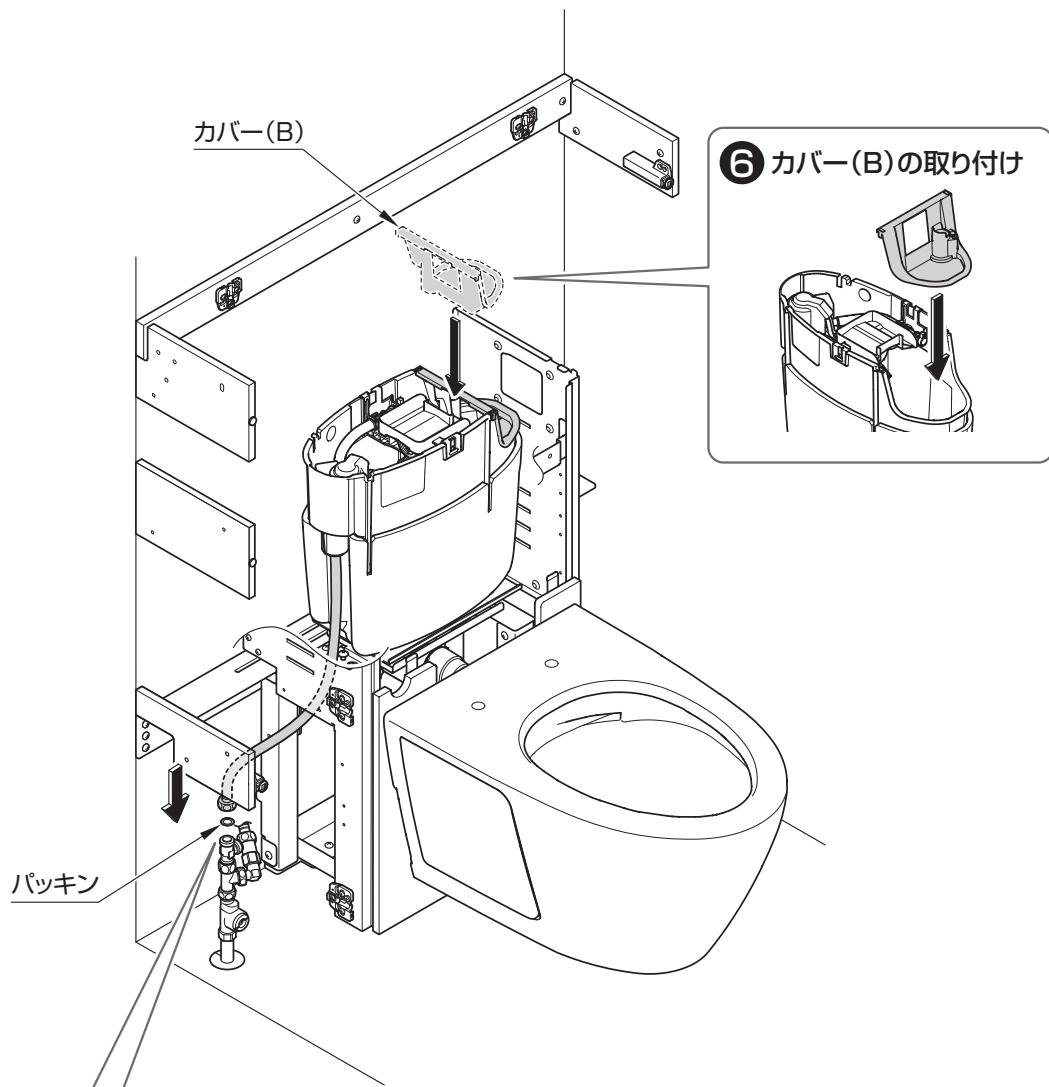


□タンクとコアキャビネット側板の間



□タンクと後壁の間

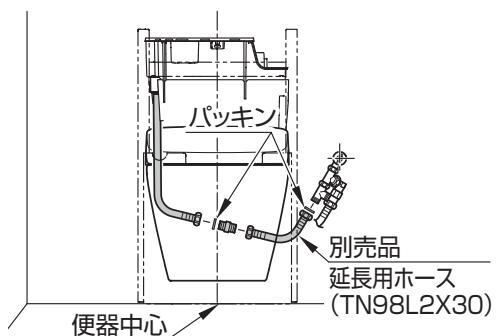




**⑤ 止水栓に給水ホースを取り付ける**

**壁給水**

壁排水 左抜きの場合



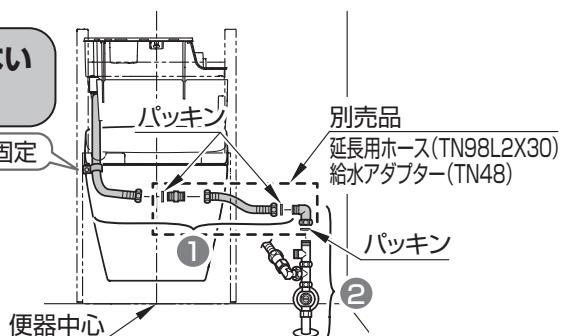
**水抜方式**

止水栓が右側にある場合

**逆勾配注意**

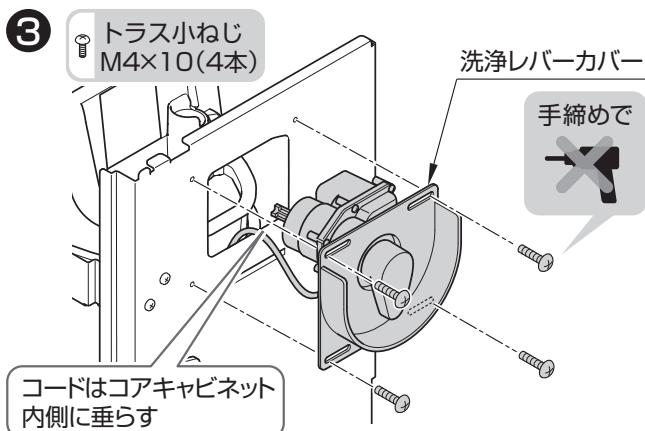
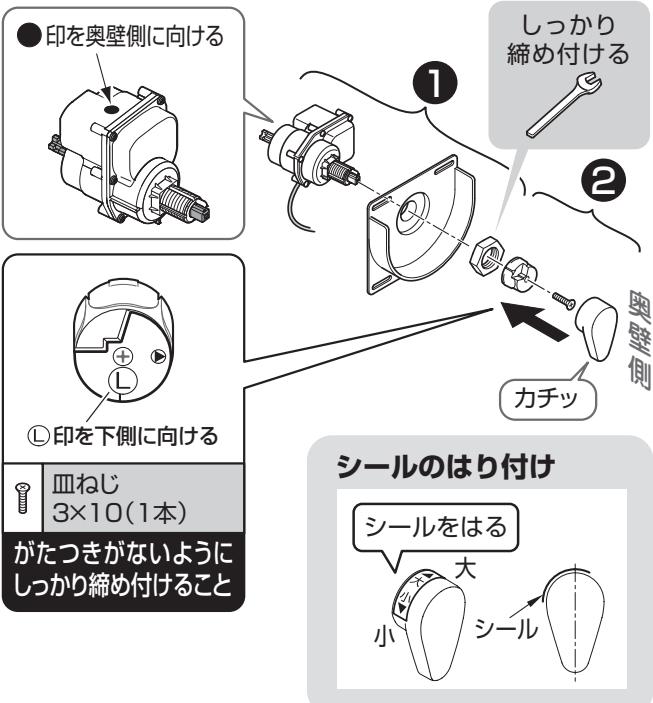
**ホースがたるまない  
ように固定する**

(後壁に固定)



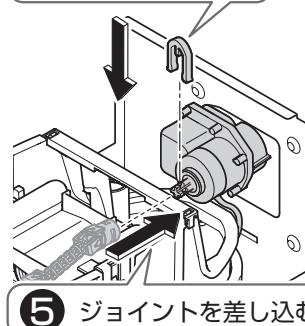
## 2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。



### 4 ジョイントからピンを取り外す

### 6 ピンを差し込む



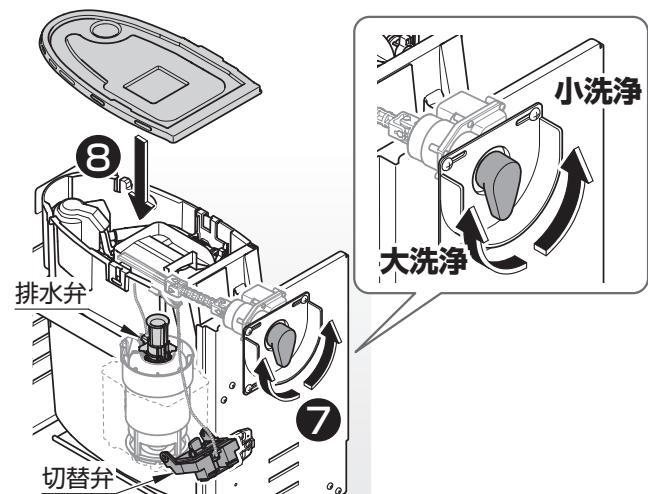
### ポイント

ジョイントが抜けないことを確認



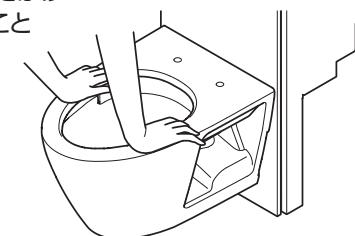
### 7 作動確認

- レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- 洗浄後、レバーが正規の位置に戻すこと



### 9 ぐらつきおよび異音有無の確認

- 便器先端に両手で荷重をかけ
- 便器がぐらつかないこと
  - 異音発生のないこと



### 10 洗浄レバー補助力バーを取り付ける

※右勝手の場合は洗浄レバー補助力バーは取り付けない。

